

三木市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

令和元年 8 月
三木市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の概要.....	2
II. 調査結果.....	3
1 子どもとご家族の状況について.....	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
3 保護者の就労状況について.....	10
4 平日の定期的な認定こども園・幼稚園・保育所等の 利用状況について（就学前保護者）.....	12
5 土曜・休日や長期の休みの認定こども園・幼稚園・ 保育所等の利用希望について（就学前保護者）.....	18
6 一時預かり等の不規則の利用について.....	21
7 子どもの病気の際の対応について.....	25
8 児童センター・吉川児童館について.....	29
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	33
10 ファミリーサポートセンターの利用について（小学生保護者）.....	42
11 学校教育について（小学生保護者）.....	44
12 仕事と子育ての両立支援制度について（就学前保護者）.....	45
13 子育てについて悩んでいることについて.....	50
14 三木市の子育て環境全般について.....	52
15 自由記述回答.....	56
III. 調査結果から見える本市の現状.....	63

I . 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第二期三木市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、三木市民の子育ての状況や、幼児教育・保育、地域の子育て支援の利用希望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることで、よりよい子育て施策の推進につなげていくことを目的として実施しました。

(2) 調査対象

三木市に居住する就学前児童の保護者（全数）と小学生児童の保護者 1,000 人（無作為抽出）

(3) 調査の方法と回収状況

郵送による調査票の配布・回収を行いました。調査期間は平成 31 年 1 月 25 日～2 月 15 日です。回収状況は以下の通りです。

■配布数・回収数・回収率

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者	2,425	1,322	54.5%
小学生児童保護者	1,000	480	48.0%

(4) 報告書の表記について

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式の質問であっても、表記のパーセント値の合計が 100.0 ちょうどにならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表のいずれにおいても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、集計対象者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難だったものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文・図表中の設問の選択肢は簡略化した表記にしている場合があります。

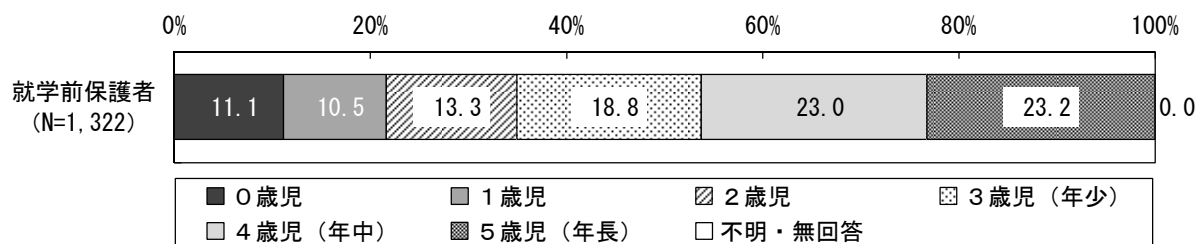
Ⅱ. 調査結果

(就学前児童保護者調査・小学生児童保護者調査)

1 子どもとご家族の状況について

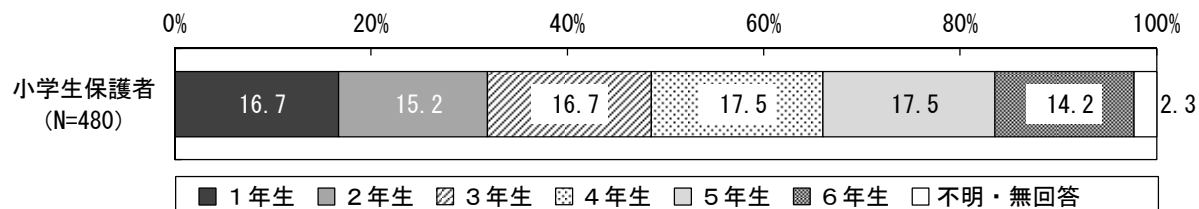
(1) 対象の子どもの年齢〔就学前…問1〕

就学前保護者調査については、調査対象となった就学前児童の年齢は、「5歳児」が23.2%で最も多く、次いで「4歳児」が23.0%となっています。



(2) 対象の子どもの学年〔小学生…問1〕

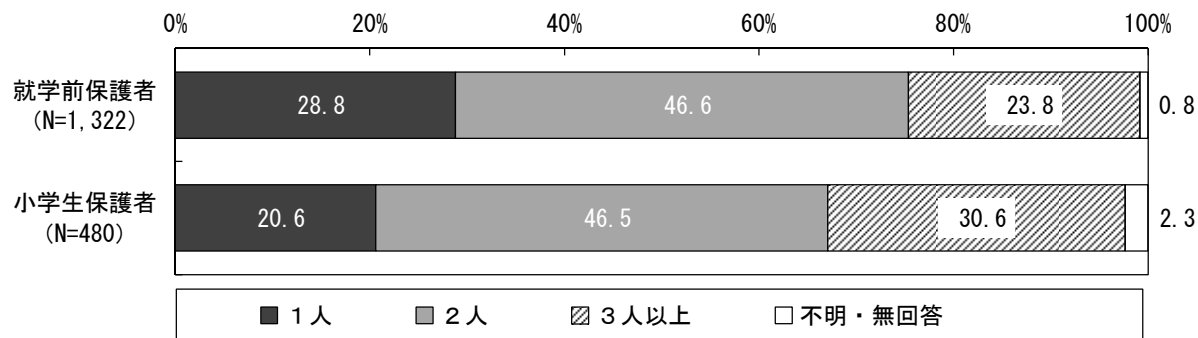
小学生保護者調査については、子どもの学年はいずれもほぼ同数となっていますが、「6年生」が14.2%でやや少なくなっています。



(3) 子どもの人数（平成30年4月1日現在）

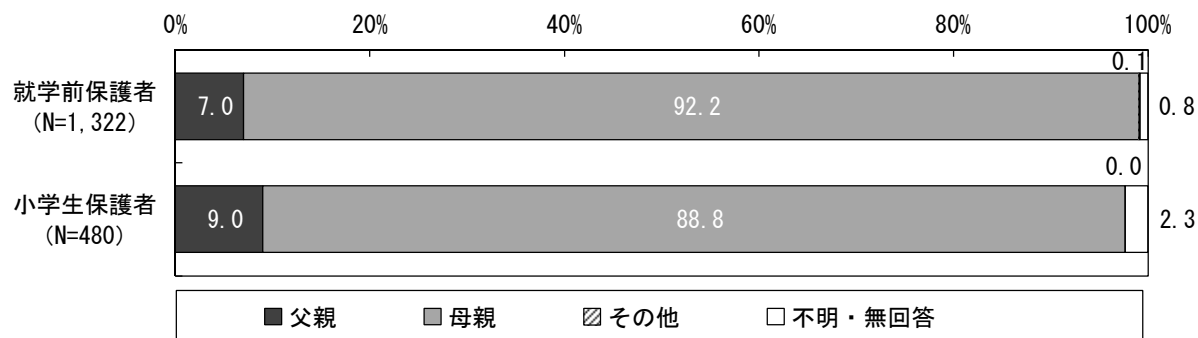
〔就学前・小学生…問2〕

子どもの人数についてみると、「2人」が就学前で46.6%、小学生では46.5%で最も多くなっています。小学生の方が子どもの人数がやや多い傾向です。



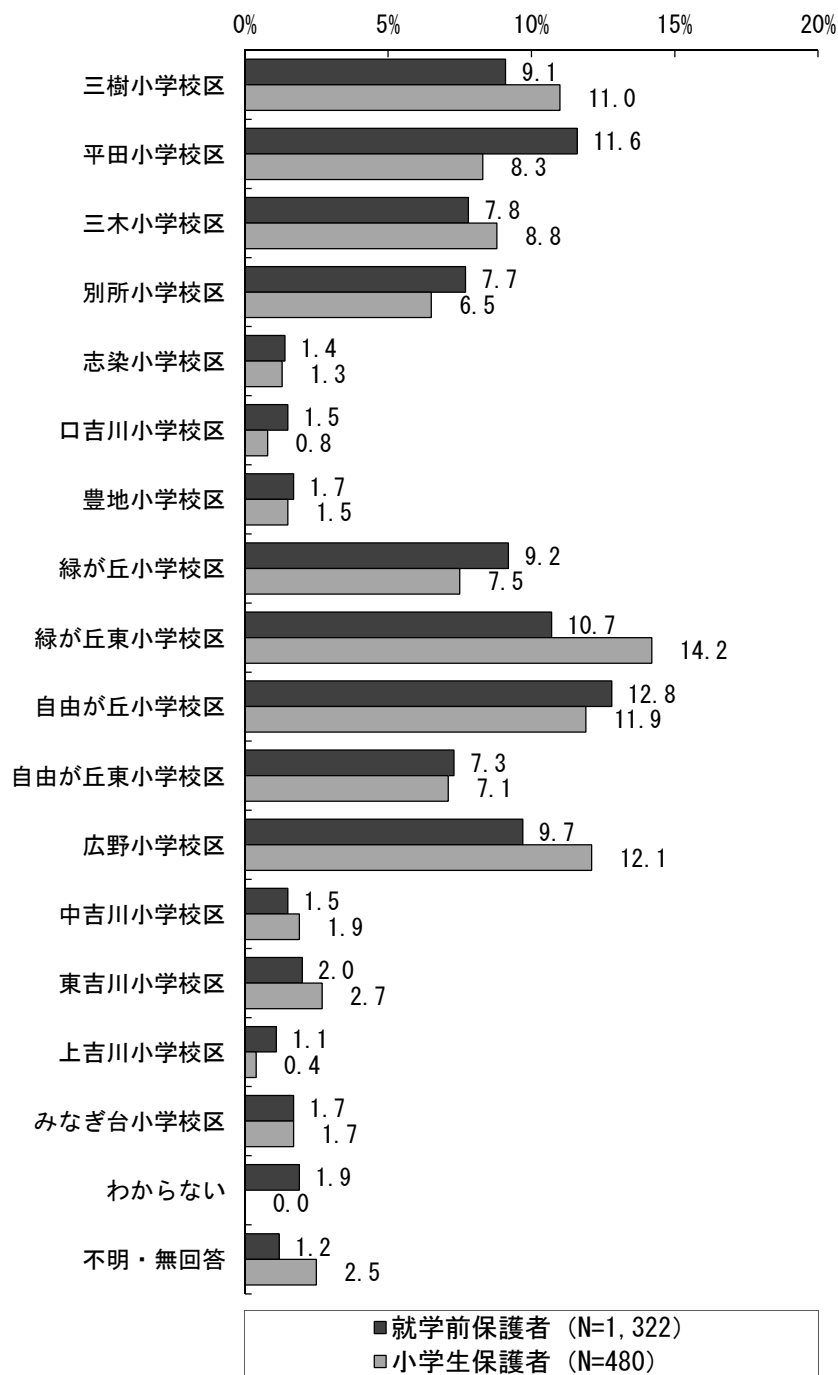
(4) 調査票の回答者〔就学前・小学生…問3〕

調査票の回答者は、「母親」が9割前後となっています。



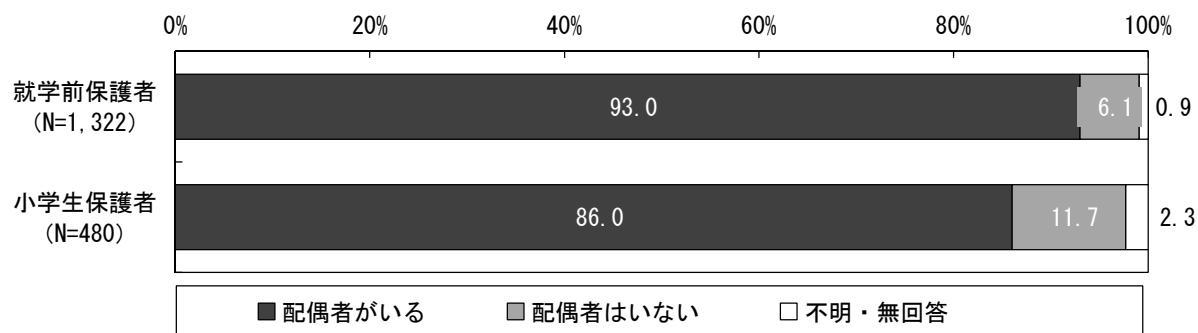
(5) お住まいの小学校区〔就学前・小学生…問4〕

居住する小学校区についてみると、就学前では「自由が丘小学校区」が12.8%、小学生では「緑が丘東小学校区」が14.2%で最も多くなっています。



(6) 調査票の回答者の配偶関係の有無〔就学前・小学生…問5〕

「配偶者はいない」という回答は、就学前で6.1%、小学生で11.7%となっています。

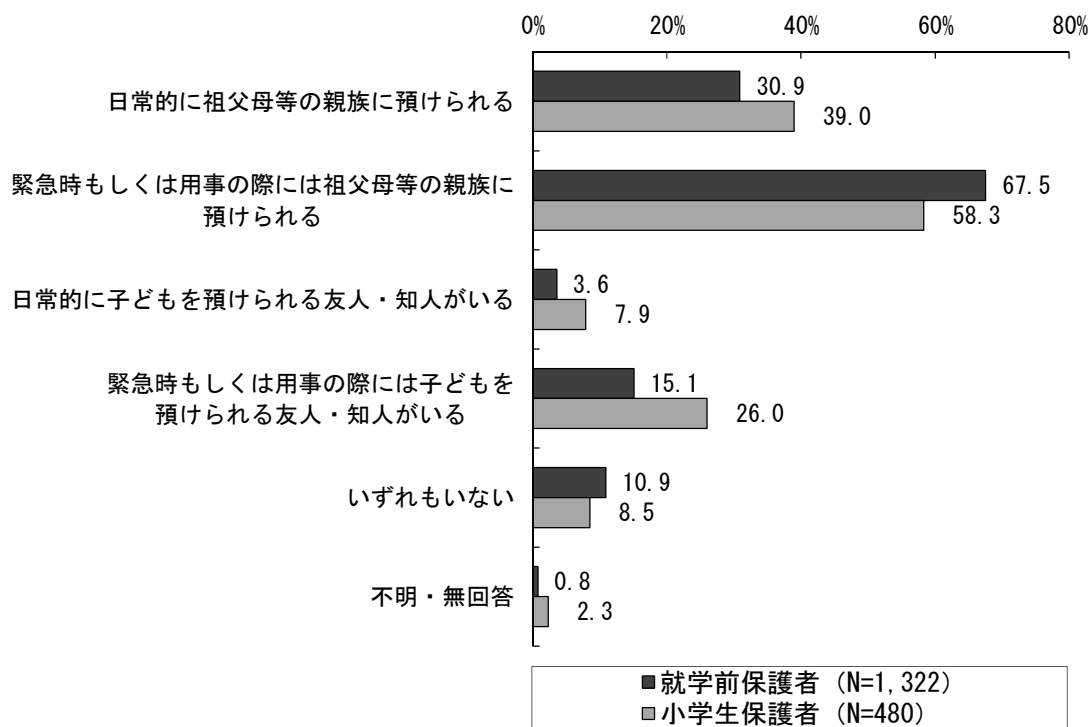


2 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 日頃、子どもを預けられる親族・知人の有無〈複数回答〉

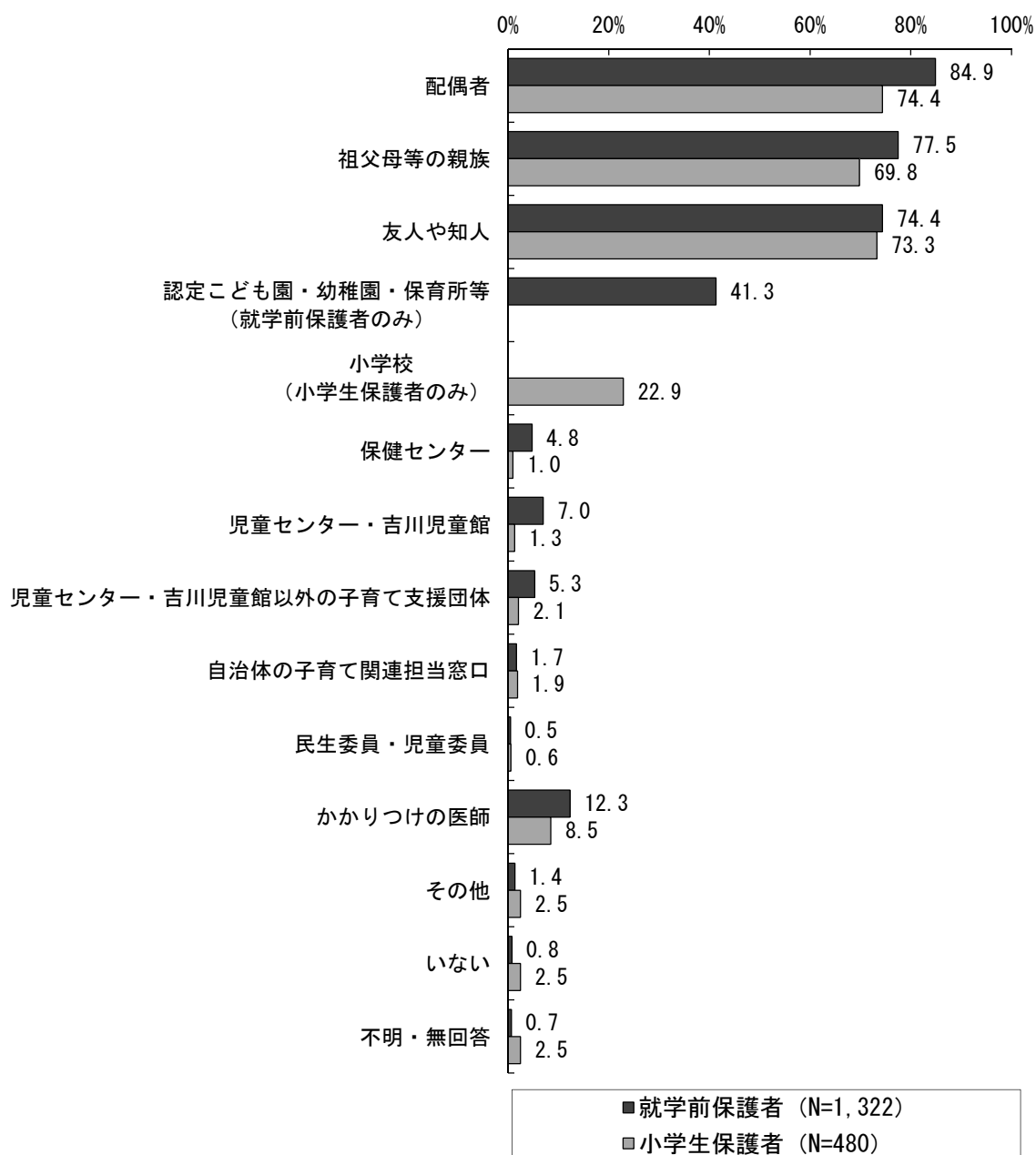
〔就学前・小学生…問6〕

日頃、子どもを預けられる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる」が6割前後で最も多くなっていますが、「いずれもない」が就学前で10.9%、小学生で8.5%あります。



(2) 子育てに関して気軽に相談できる先〈複数回答〉〔就学前・小学生…問7〕

子育てに関して、気軽に相談できる先についてみると、就学前、小学生ともに「配偶者」「祖父母等の親族」「友人や知人」が多くなっています。就学前では「認定こども園・幼稚園・保育所等」も4割を超えています。



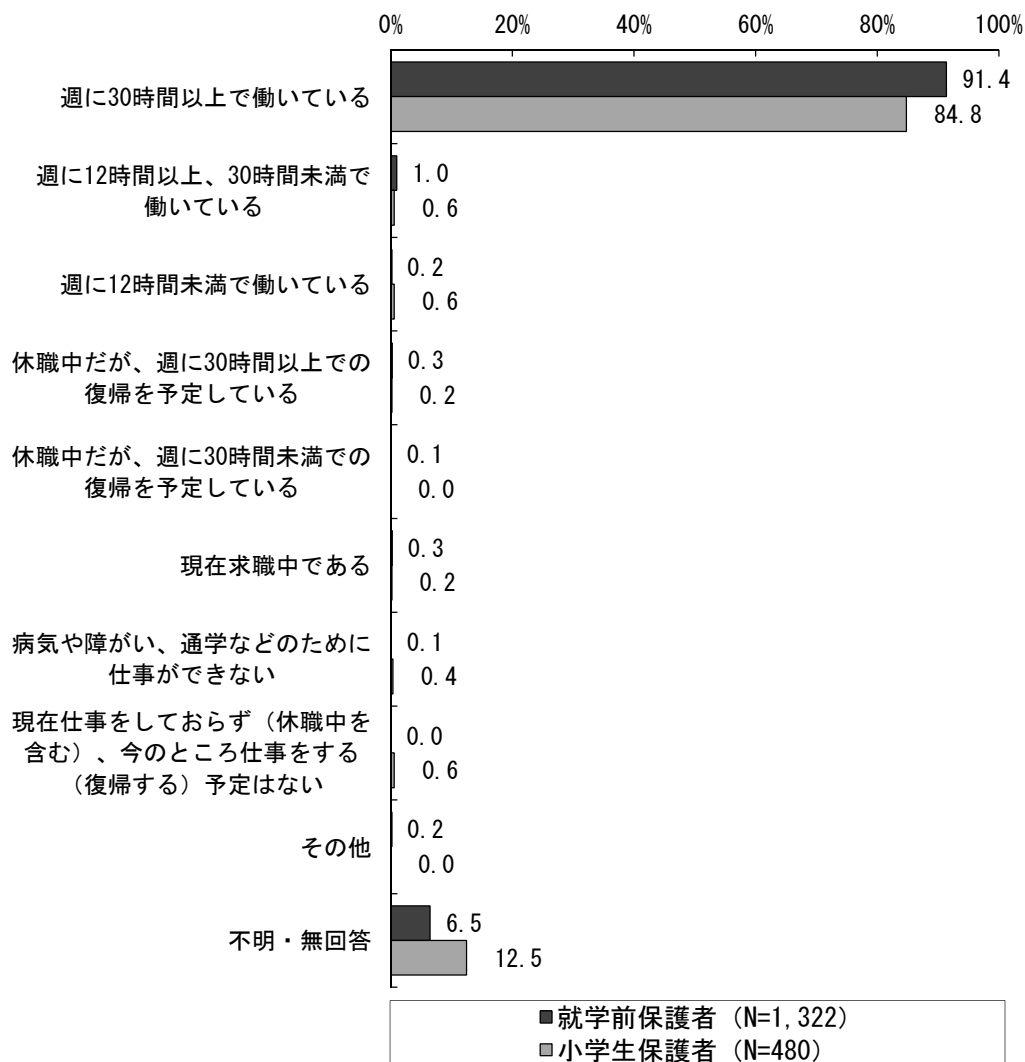
3 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〔就学前・小学生…問8〕

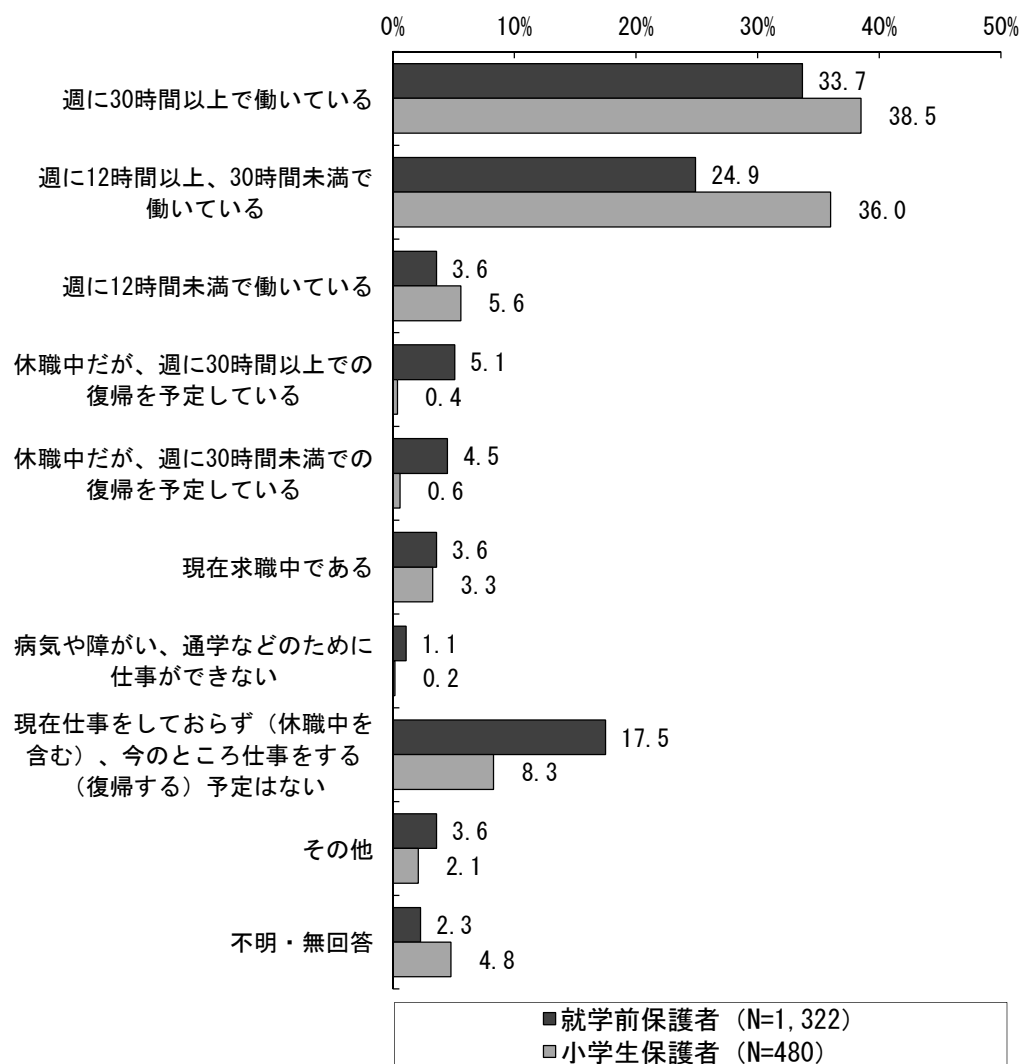
保護者の就労状況についてみると、父親では「週 30 時間以上で働いている」が就学前、小学生ともに回答のほとんどを占めています。

母親では「週 30 時間以上で働いている」が就学前 33.7%、小学生 38.5%で最も多く、次いで「週 12 時間以上、30 時間未満で働いている」が就学前 24.9%、小学生 36.0%となっています。就学前では、「現在仕事をしておらず、今のところ仕事をする予定はない」も 17.5%あります。

【父親】



【母親】

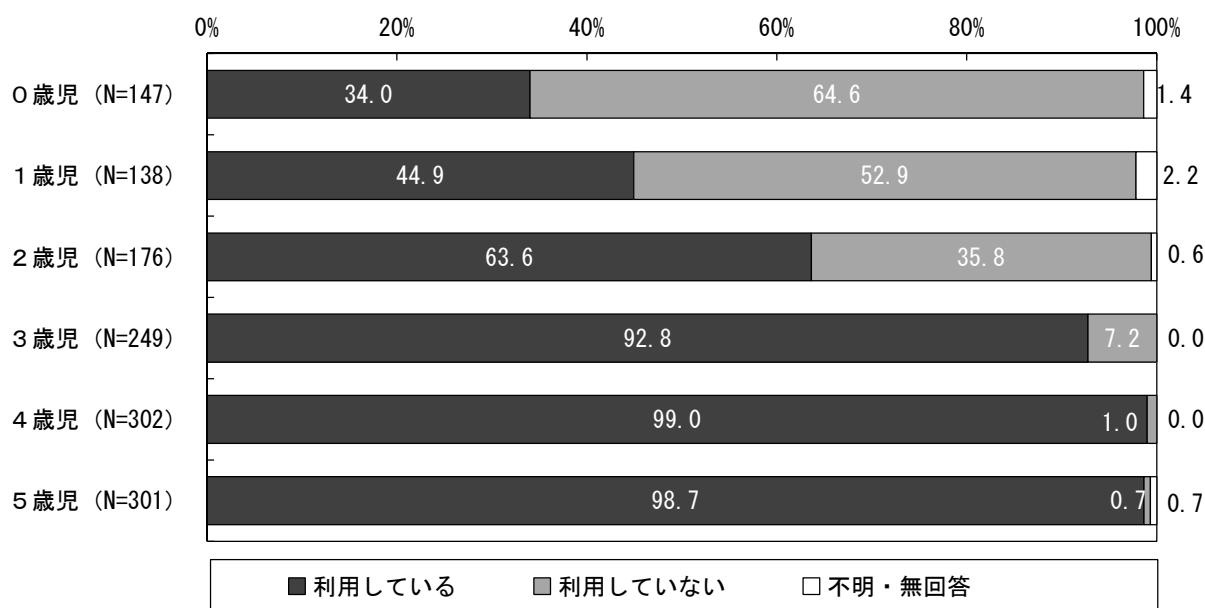
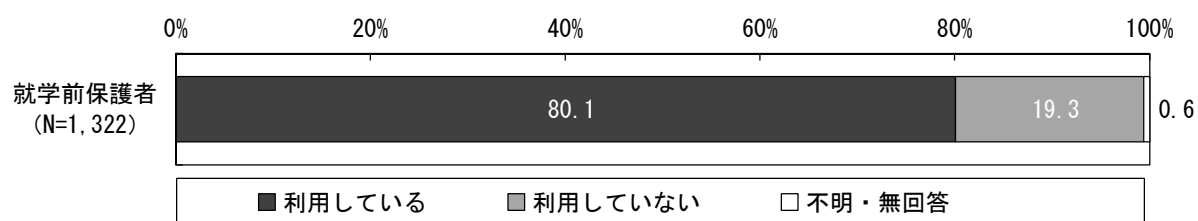


4 平日の定期的な認定こども園・幼稚園・保育所等の 利用状況について（就学前保護者）

（１）現在の、認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況〔就学前…問9〕

現在の認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況をみると、「利用している」が80.1%、「利用していない」が19.3%となっています。

年齢別にみると、0歳児の「利用している」は34.0%ですが、年齢が上がるほど利用が増加し、3歳児で92.8%、4歳児以上はほぼ100%となっています。

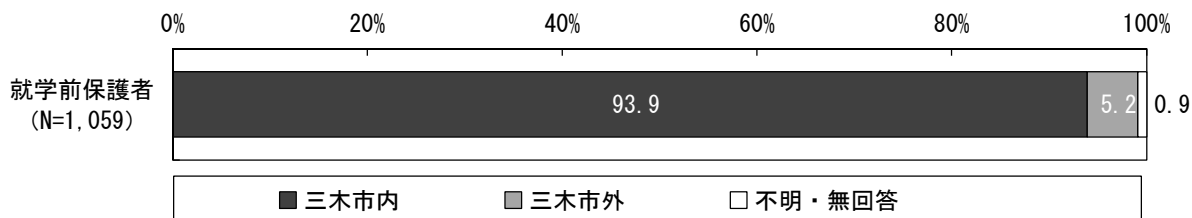


※アンケート調査に回答した人の集計のため、実際の三木市の認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況とは異なります。

(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－1 利用している場所〔就学前…問9-1〕

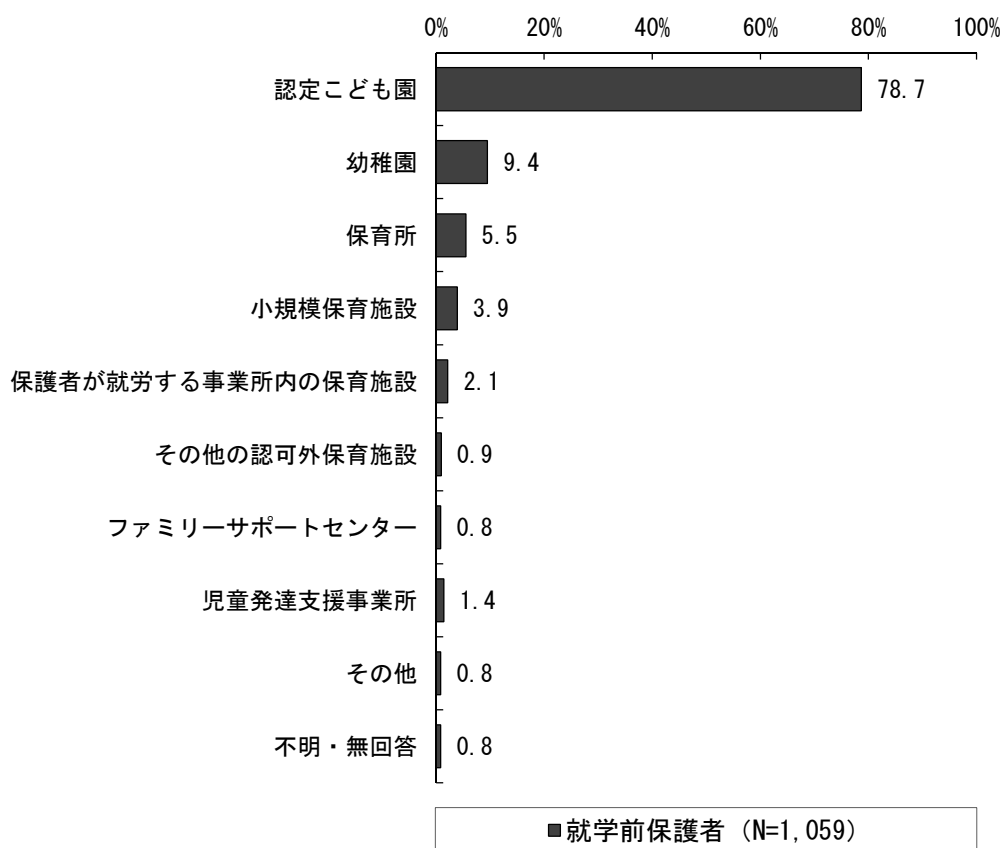
認定こども園・幼稚園・保育所等を利用している場所については、「三木市内」が93.9%を占めており、「三木市外」は5.2%です。



(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－2 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前…問9-2〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認定こども園」が78.7%で最も多くなっています。「幼稚園」は9.4%、「保育所」は5.5%となっています。

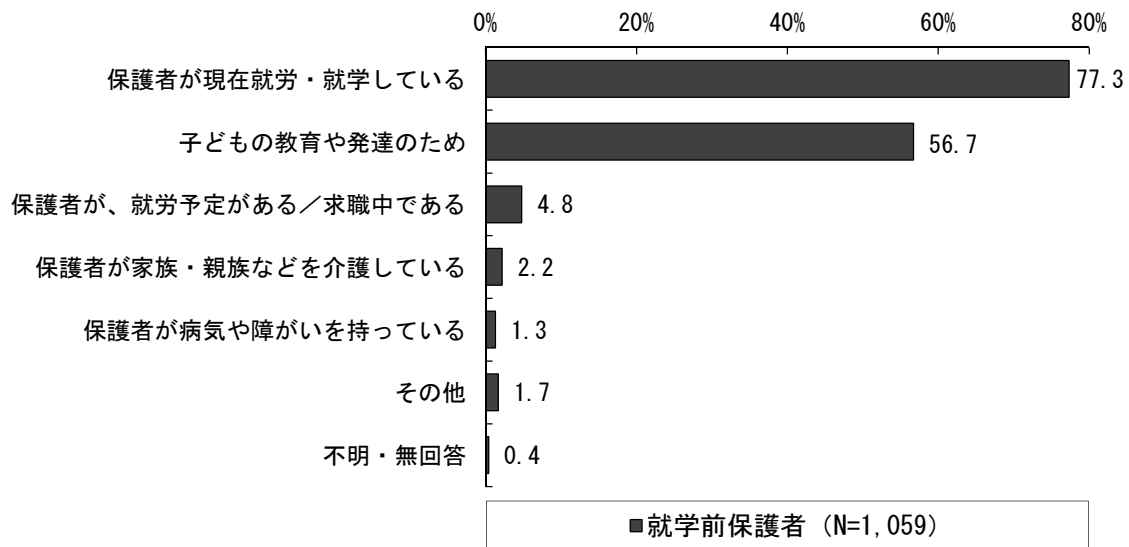


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 平日、教育・保育事業を利用している理由〈複数回答〉

〔就学前…問9-3〕

平日、教育・保育事業を利用している理由についてみると、「保護者が現在就労・就学している」が77.3%、「子どもの教育や発達のため」が56.7%となっています。

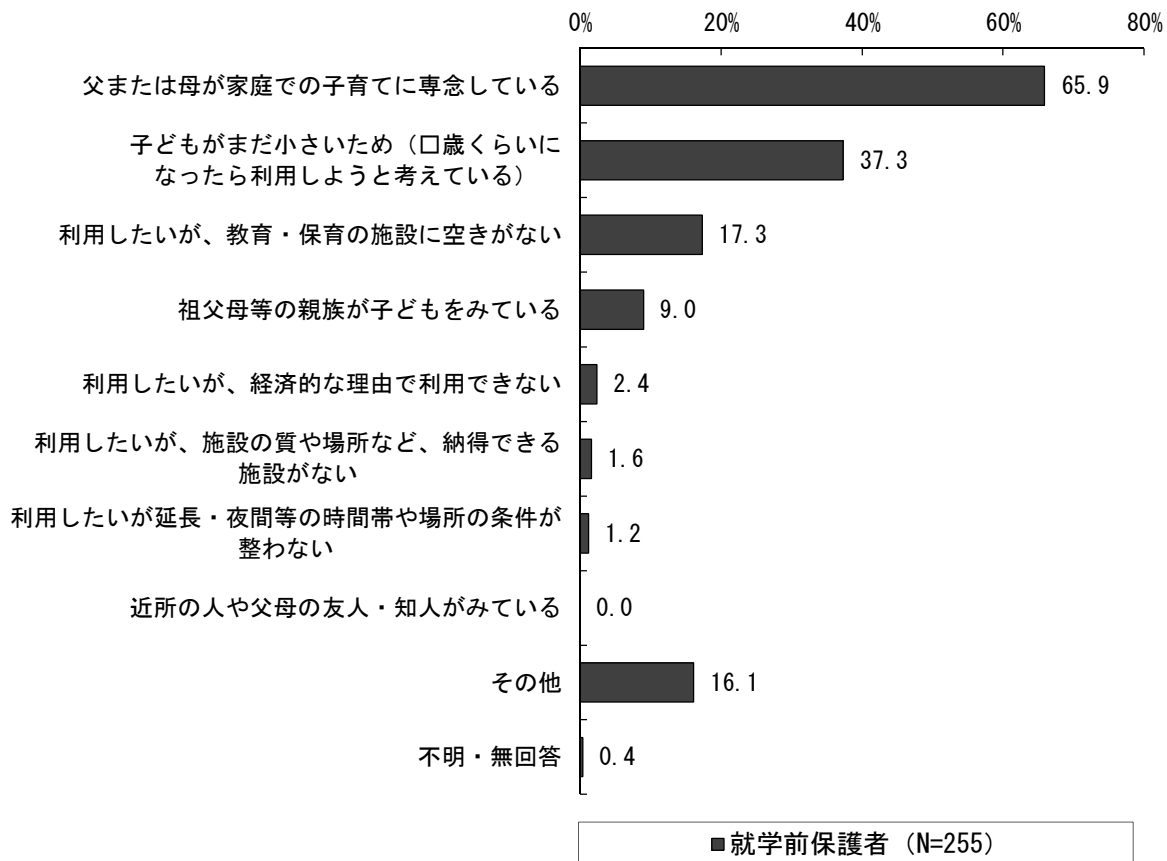


(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－4 利用していない理由〈複数回答〉〔就学前…問9-4〕

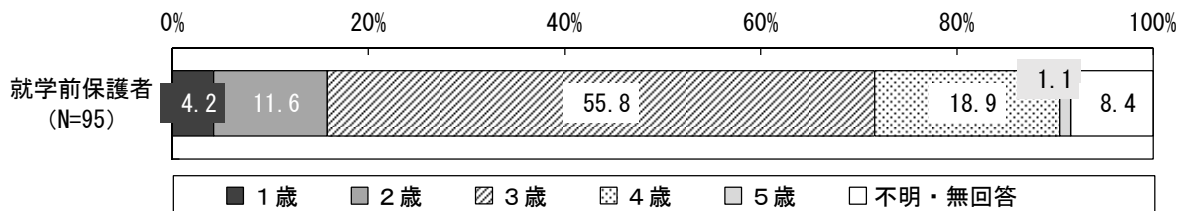
平日、教育・保育事業を利用していない理由についてみると、「父または母が家庭での子育てに専念している」が65.9%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が37.3%となっています。

「子どもがまだ小さいため」を選んだ人が、教育・保育事業を利用しようと思う年齢は、「3歳」が55.8%で最も多く、次いで「4歳」が18.9%となっています。



◎利用したい時の子どもの年齢

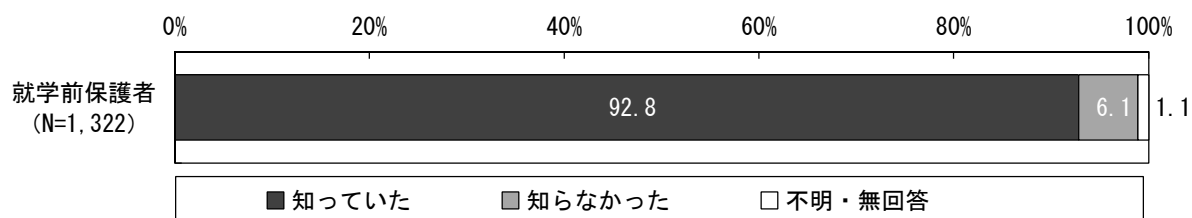
《「子どもがまだ小さいため (〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」を選んだ方》



(2) 3歳児以上の認定こども園・幼稚園・保育所等の保育料無償化の認知度

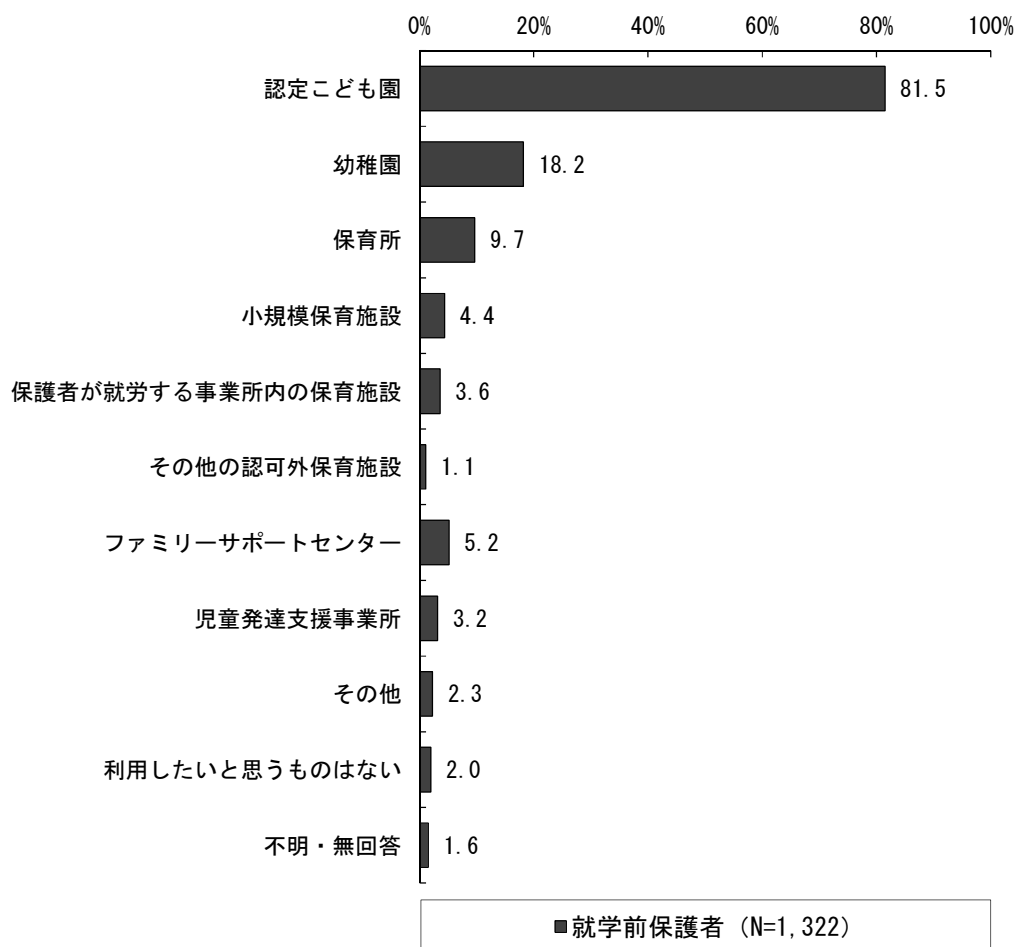
〔就学前…問10〕

市が平成29年度に開始した、3歳児以上の認定こども園・幼稚園・保育所等の保育料を無償とする施策については、就学前保護者の92.8%が「知っていた」と回答しており、子育て世帯に幅広く認知されていることが示されています。



(3) 今後、定期的に利用を希望する教育・保育施設〈複数回答〉〔就学前…問11〕

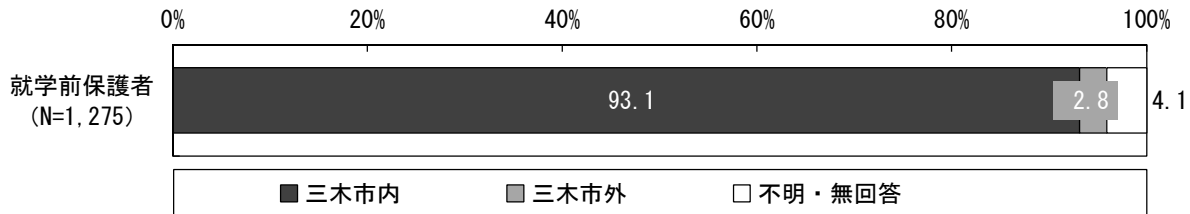
今後、定期的に利用を希望する教育・保育施設については、「認定こども園」が81.5%で最も多く、次いで「幼稚園」が18.2%となっています。



(3)で「利用したいと思うものはない」以外を選んだ方

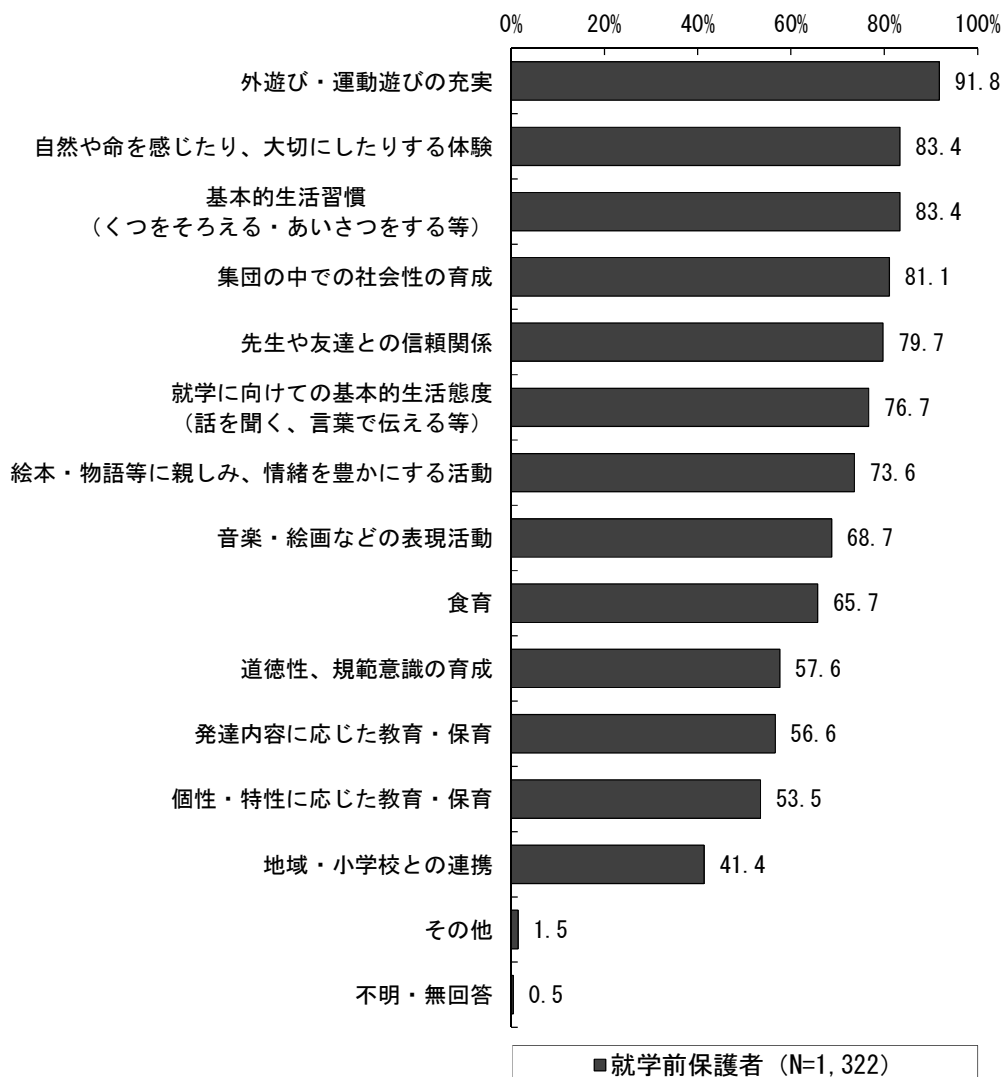
(3)－1 定期的に教育・保育施設を利用したい場所〔就学前…問 11-1〕

定期的に教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「三木市内」が93.1%と大部分を占めています。



(4) 子どもについて希望する教育・保育内容〈複数回答〉〔就学前…問 12〕

子どもに希望する教育・保育内容についてみると、「外遊び・運動遊びの充実」が91.8%で最も多く、「自然や命を感じたり、大切にしたりする体験」「基本的生活習慣」「集団の中での社会性の育成」も8割を超えています。

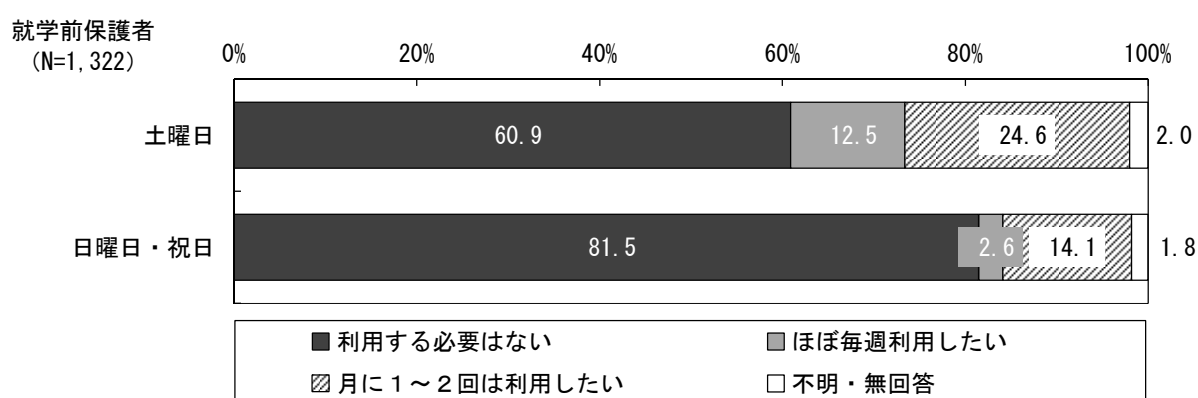


5 土曜・休日や長期の休みの認定こども園・幼稚園・ 保育所等の利用希望について（就学前保護者）

（１）土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育施設の利用希望（一時的な利用は除く）〔就学前…問13〕

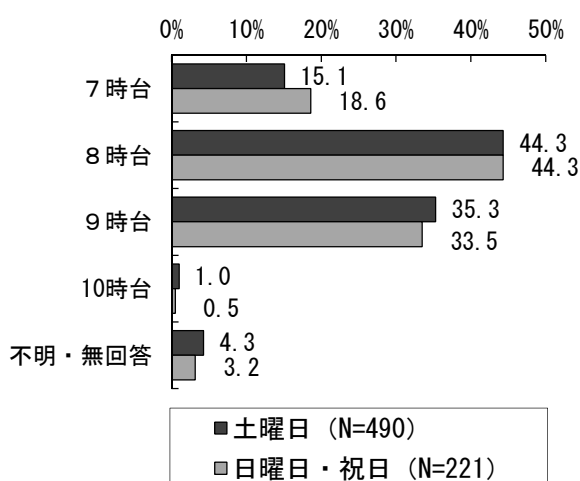
土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、「ほぼ毎週利用したい」は土曜日が12.5%、日曜日・祝日が2.6%となっており、「月に1～2回は利用したい」と合わせると、土曜日は37.1%、日曜日・祝日は16.7%が利用希望を持っています。

利用を希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに開始は「8時台」、終了は「17時台」と「18時台」が多くなっています。

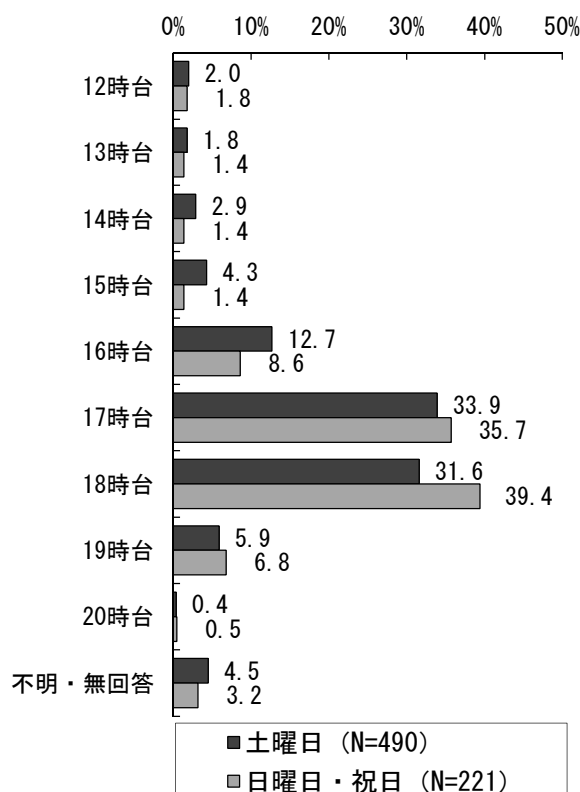


◎利用したい時間帯 《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

利用開始希望時刻



利用終了希望時刻

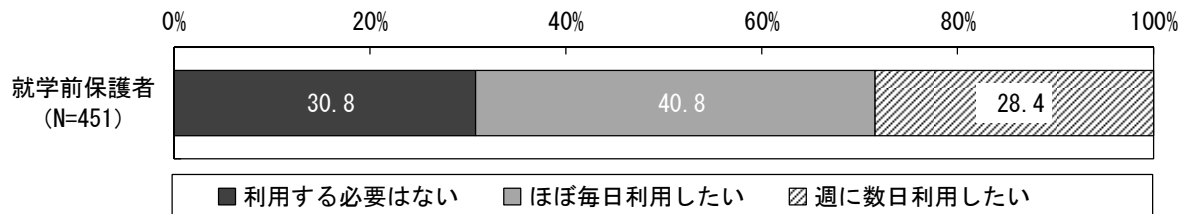


「幼稚園」または「認定こども園（1号認定）」を利用している方

（2）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用希望 [就学前…問 14]

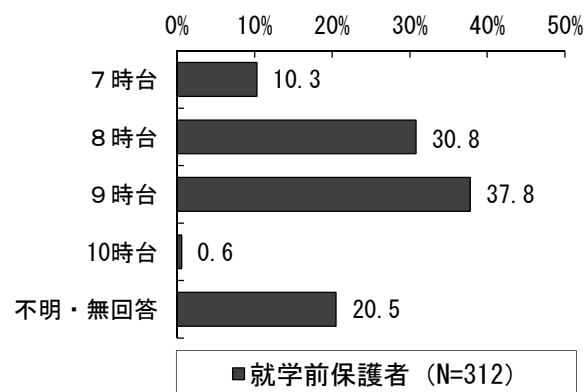
「幼稚園」または「認定こども園（1号認定）」を利用している人の夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望についてみると、「ほぼ毎日利用したい」が40.8%、「週に数日利用したい」と合わせると69.2%が利用希望を持っています。

利用を希望する時間帯については、8時台から18時台の時間帯の希望が特に多くなっています。

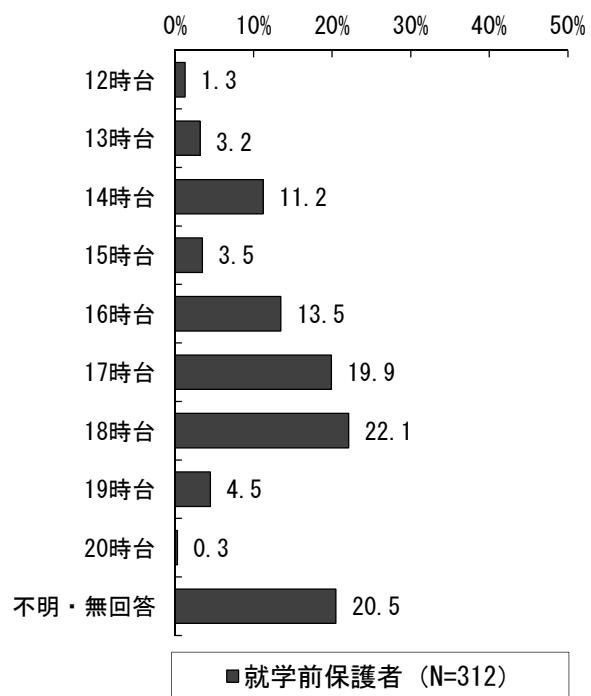


◎利用したい時間帯 《「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方》

利用開始希望時刻



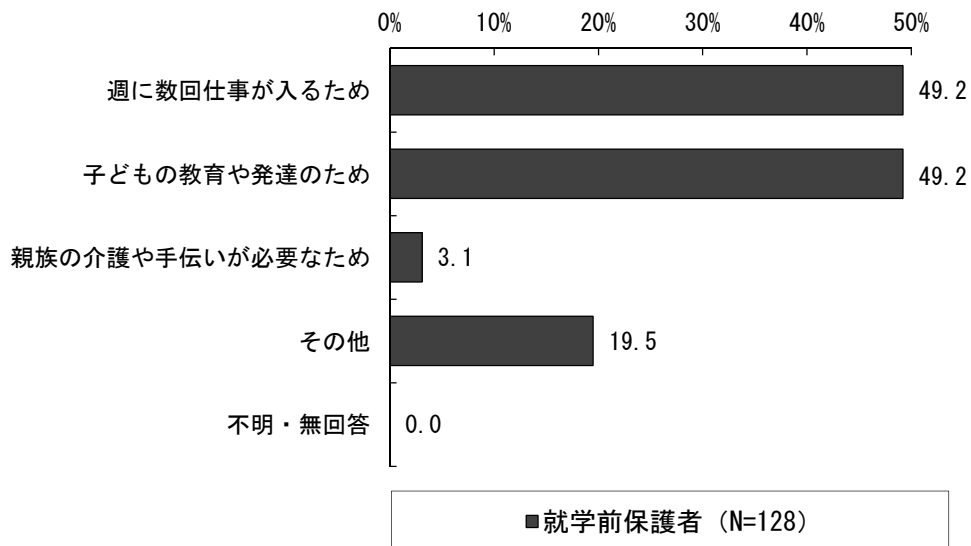
利用終了希望時刻



(2)で「週に数日利用したい」を選んだ方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前…問 14-1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「週に数回仕事が入るため」と「子どもの教育や発達のため」が49.2%で多くなっています。

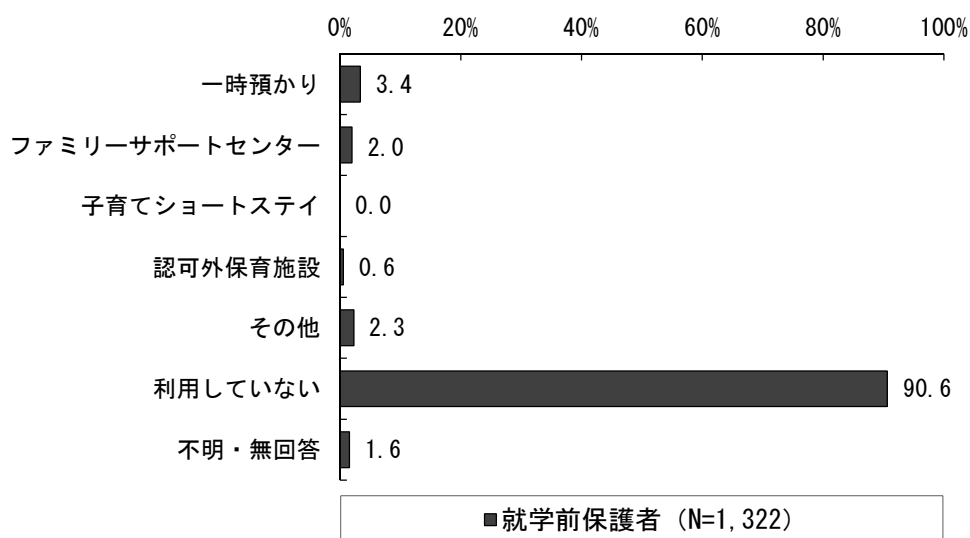


6 一時預かり等の不規則の利用について

(1) 子どもについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に不規則に利用している事業（就学前保護者のみ）〈複数回答〉〔就学前…問16〕

日中の定期的な保育や病気のため以外に不規則に利用している事業についてみると、「利用していない」が9割を超えており、利用したことがある事業については、「一時預かり」が3.4%、「ファミリーサポートセンター」が2.0%となっています。

預けた日数については、年に10日以上の回答が多くなっています。



◎ 1年間の利用日数 《「利用していない」以外を選んだ方》

就学前保護者	一時預かり N=45		ファミリーサポートセンター N=26		認可外保育施設 N=8		その他 N=30	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	7	15.6	6	23.1	2	25.0	1	3.3
2日	4	8.9	2	7.7	0	0.0	2	6.7
3日	2	4.4	3	11.5	0	0.0	5	16.7
4日	1	2.2	1	3.8	0	0.0	0	0.0
5日	4	8.9	3	11.5	0	0.0	0	0.0
6日	1	2.2	2	7.7	1	12.5	1	3.3
7日	1	2.2	0	0.0	0	0.0	2	6.7
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	23	51.1	9	34.6	5	62.5	16	53.3
不明・無回答	2	4.4	0	0.0	0	0.0	3	10.0

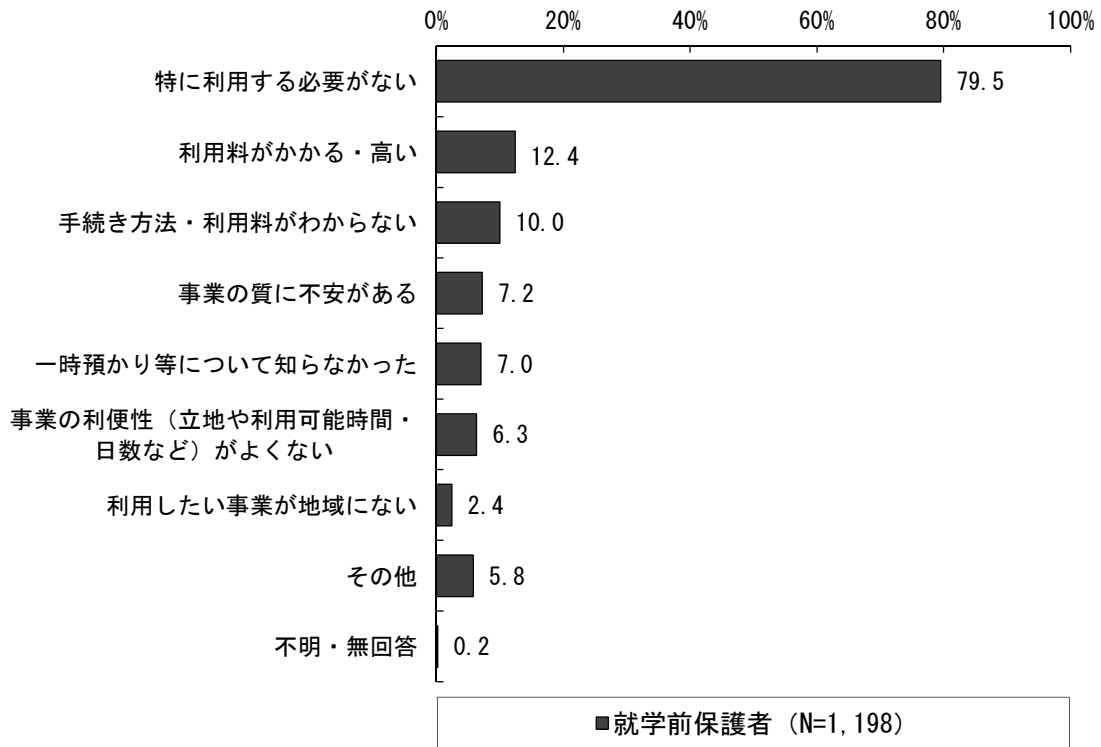
※ 「子育てショートステイ」という選択肢も設けていたが回答者なし

(1)で「利用していない」を選んだ方

(1) - 1 一時預かり等を利用しなかった理由(就学前保護者のみ)〈複数回答〉

〔就学前…問 16-1〕

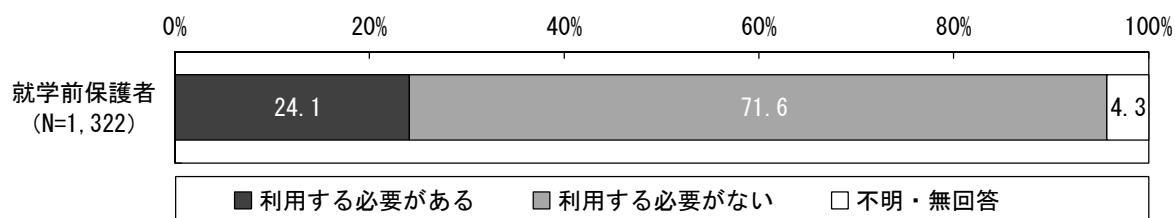
現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が79.5%で最も多くなっています。また、「利用料がかかる・高い」「手続き方法・利用料がわからない」が1割程度となっています。



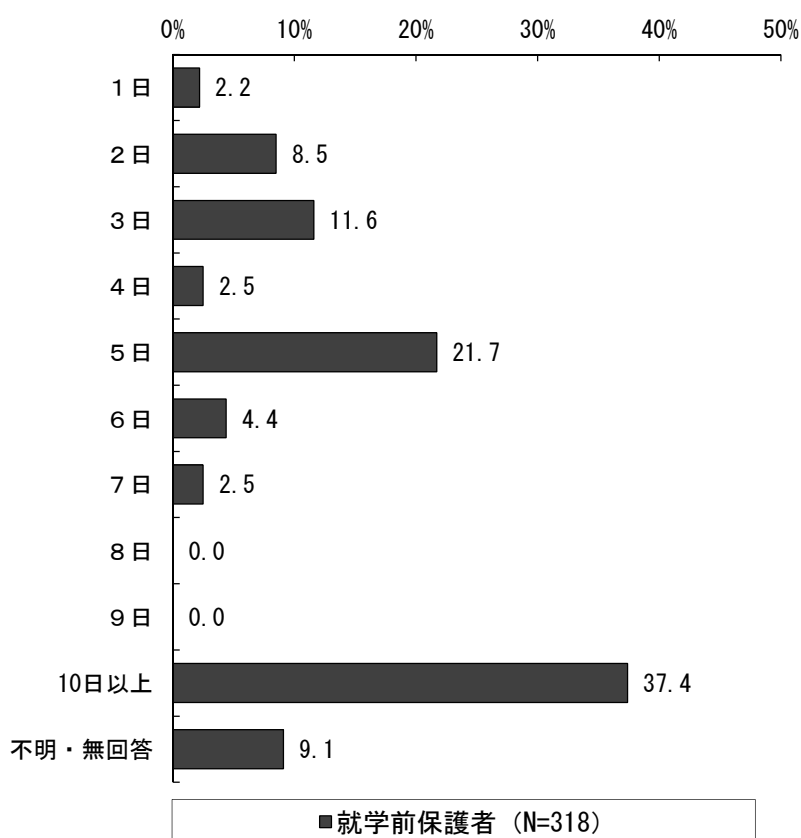
**(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かりを利用する必要があるか
(就学前保護者のみ) [就学前…問 17]**

一時預かりを利用する必要があるかどうかについてみると、「利用する必要がある」が 24.1%となっています。

利用が必要な年間の日数については、「10日以上」で 37.4%の回答があります。



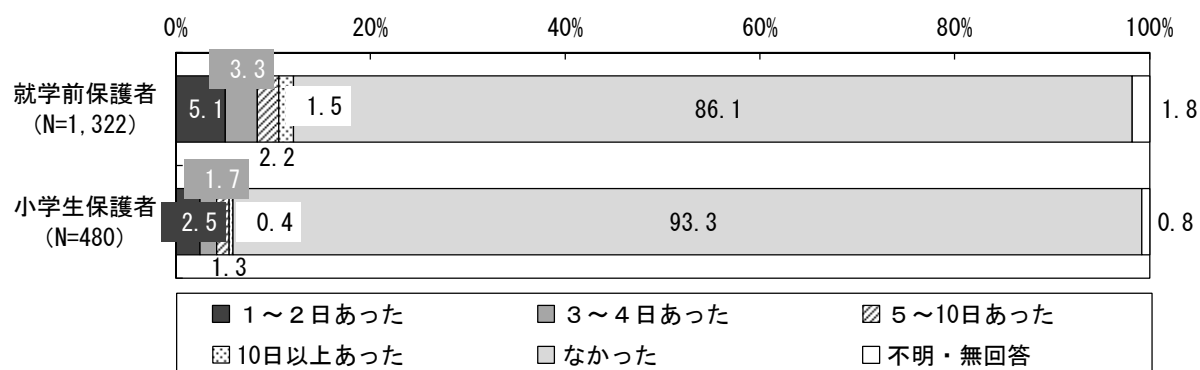
◎利用が必要な年間の日数 《「利用する必要がある」を選んだ方》



(3) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族・親族以外に預けなければならなかった経験の有無

[就学前…問 18、小学生…問 15]

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無についてみると、1日以上あったという回答は、就学前で12.1%、小学生で5.9%となっています。

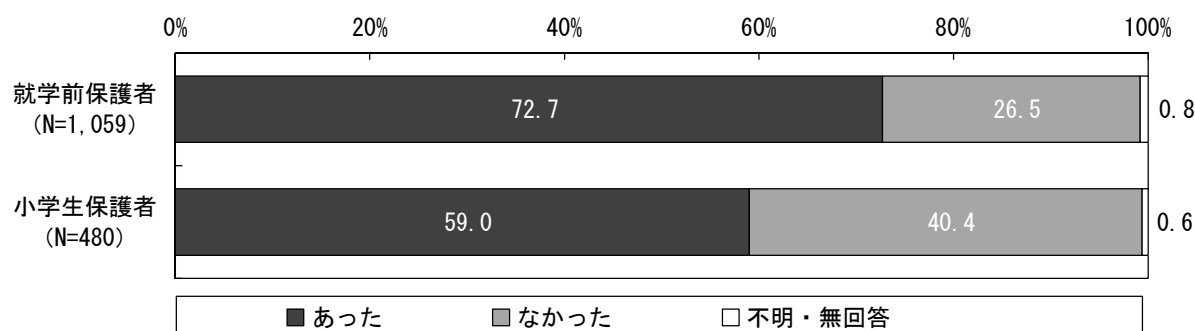


7 子どもの病気の際の対応について

* 就学前保護者は「平日の教育・保育を利用する方」のみ

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の利用（平日の教育・保育の利用）ができなかったり、学校を休まなければならなかったことの有無〔就学前…問15、小学生…問14〕

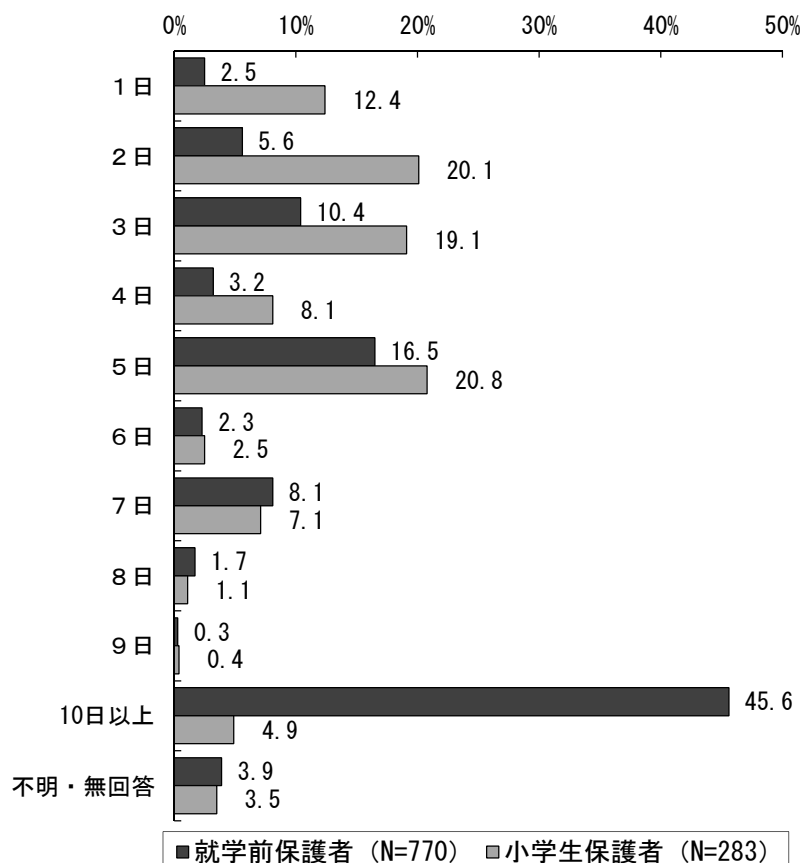
この1年間に、子どもが病気やケガで通常の利用ができなかったり、学校を休まなければならなかったことが「あった」という回答は就学前で72.7%、小学生で59.0%となっています。



(1) で「あった」を選んだ方

(1) - 1 1年間に通常の利用（平日の教育・保育の利用）ができなかった（小学生の場合は、病気やケガで学校を休んだ）年間日数〔就学前…問15-1、小学生…問14-1〕

1年間に通常の利用ができなかった日数についてみると、就学前は10日以上の回答が約半数を占めており、小学生では5日以内が約8割となっています。

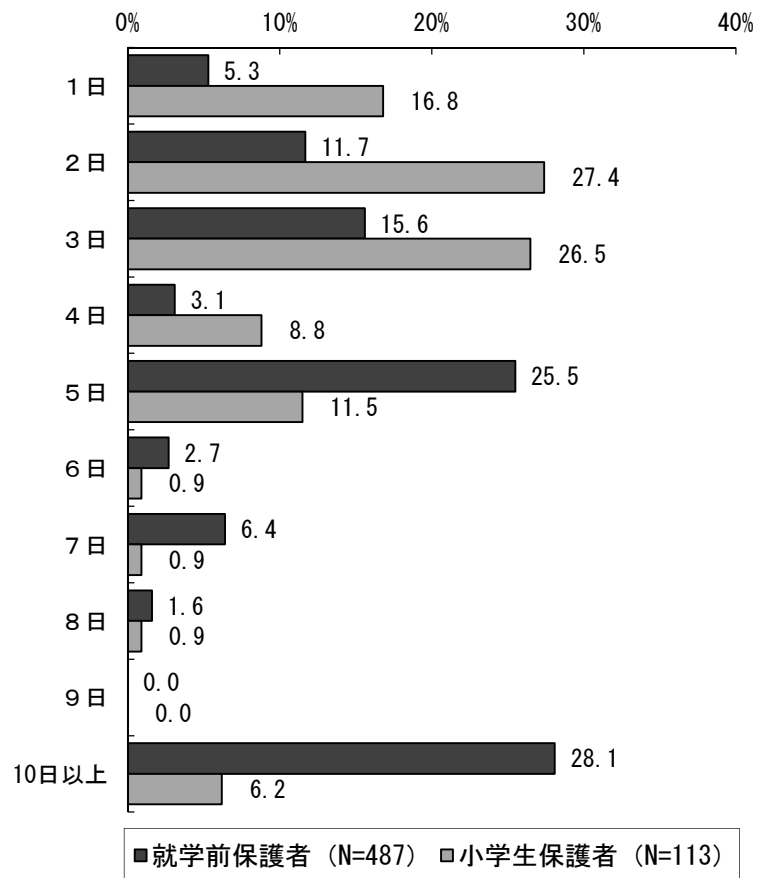


(1)で「あった」を選んだ方

(1)－2 通常の利用(平日の教育・保育の利用)ができなかった(小学生の場合は、学校を休んだ)日数のうち、子どもをどこかで保育(看護を含む)してもらいたいと思った日数

[就学前…問 15-2、小学生…問 14-2]

通常の利用ができなかった(小学生の場合は、学校を休んだ)日数のうち、子どもをどこかで保育(看護を含む)してもらいたいと思った日数についてみると、就学前では10日以上が約3割、5日以上が約6割となっています。小学生では1～3日が多くなっています。

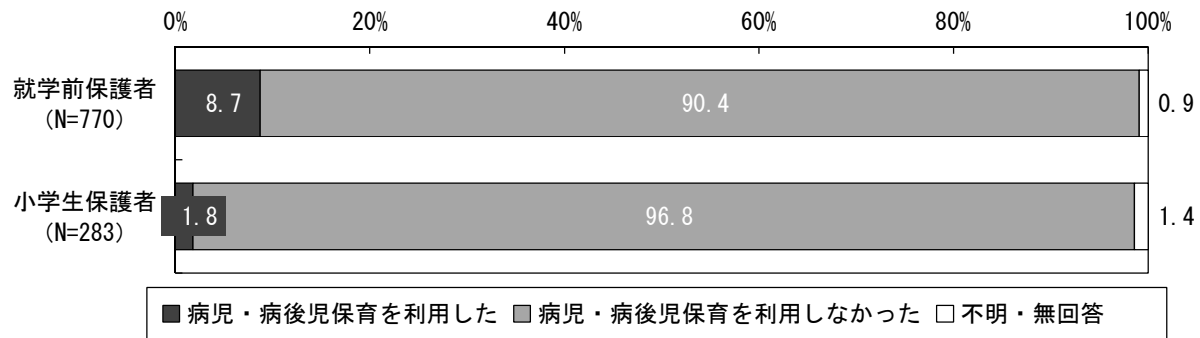


(1)で「あった」を選んだ方

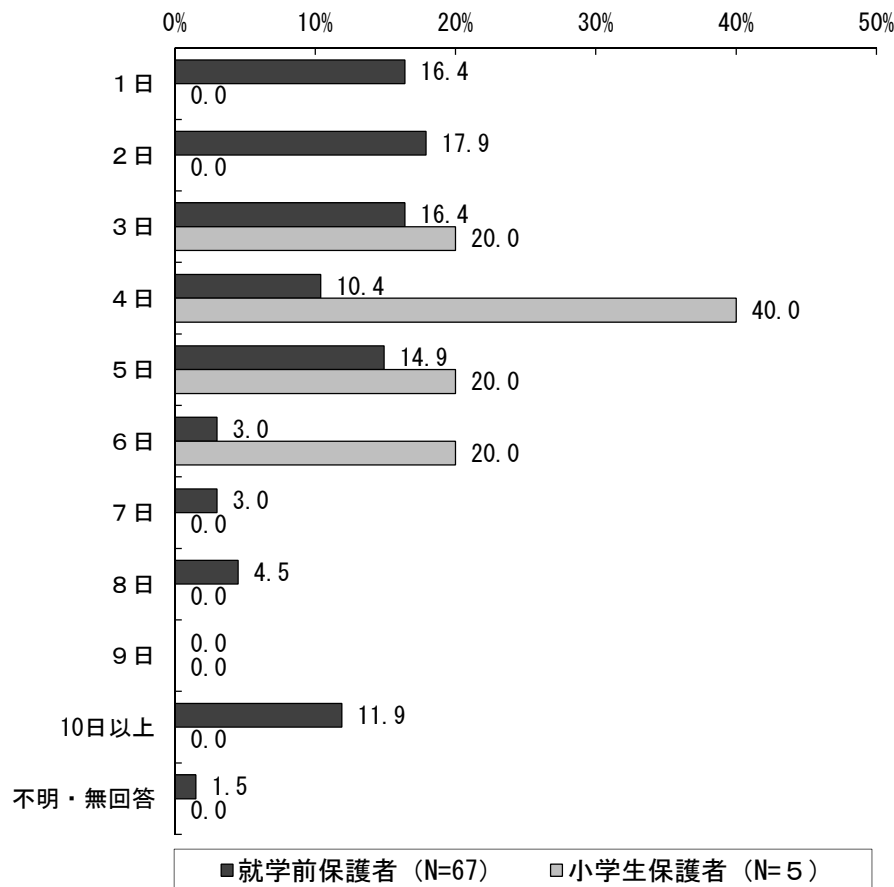
(1)－3 その際の病児・病後児保育の利用状況〔就学前…問 15-3、小学生…問 14-3〕

通常の利用ができなかった（小学生の場合は、学校を休んだ）日数のうち、病児・病後児保育を利用したのは就学前で8.7%、小学生で1.8%となっています。

就学前の利用日数については、3日以内の回答が約半数、5日以内が4分の3を占めている一方で、10日以上の回答も1割を超えています。



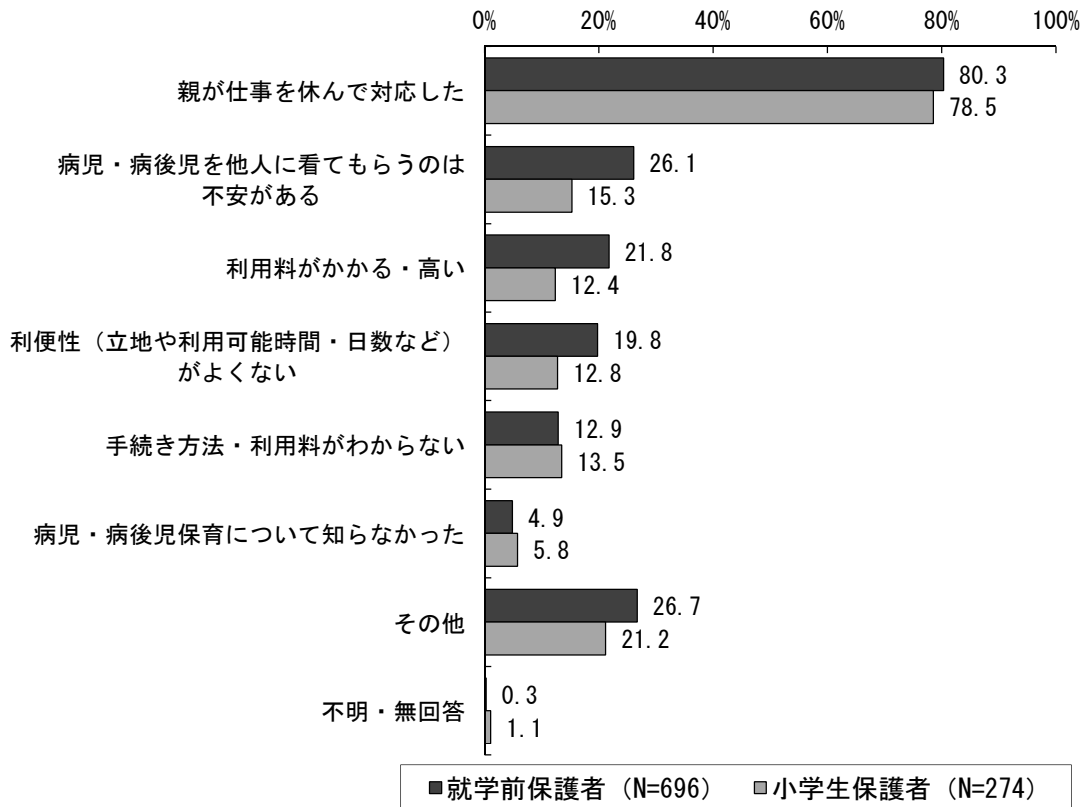
◎病児・病後児保育を利用した方の年間日数 《「病児・病後児保育を利用した」を選んだ方》



(1) - 3で「病児・病後児保育を利用しなかった」を選んだ方

(1) - 4 利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前…問 15-4、小学生…問 14-4〕

病児・病後児保育を利用しなかった理由についてみると、「親が仕事を休んで対応した」が8割前後で最も多くなっています。就学前では、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある」「利用料がかかる・高い」も2割を超えています。



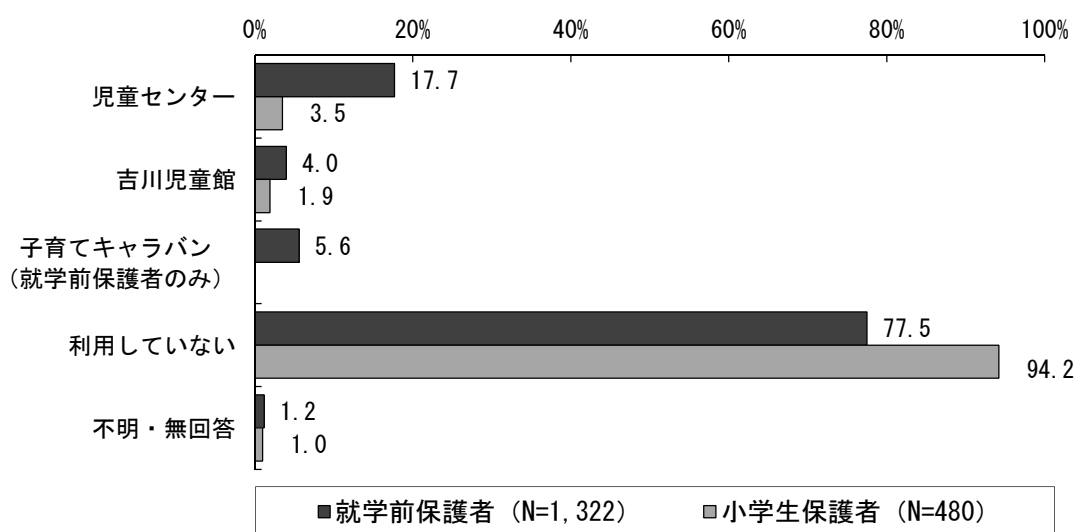
8 児童センター・吉川児童館について

(1) 児童センター、吉川児童館等の現在の利用状況〈複数回答〉

〔就学前…問 19、小学生…問 16〕

児童センター、吉川児童館等の現在の利用状況についてみると、「利用していない」が就学前で77.5%、小学生で94.2%となっています。次いで、「児童センター」は就学前で17.7%、小学生で3.5%となっています。

ひと月当たりの利用日数については、児童センター、吉川児童館ともに「1日」が約半数となっています。



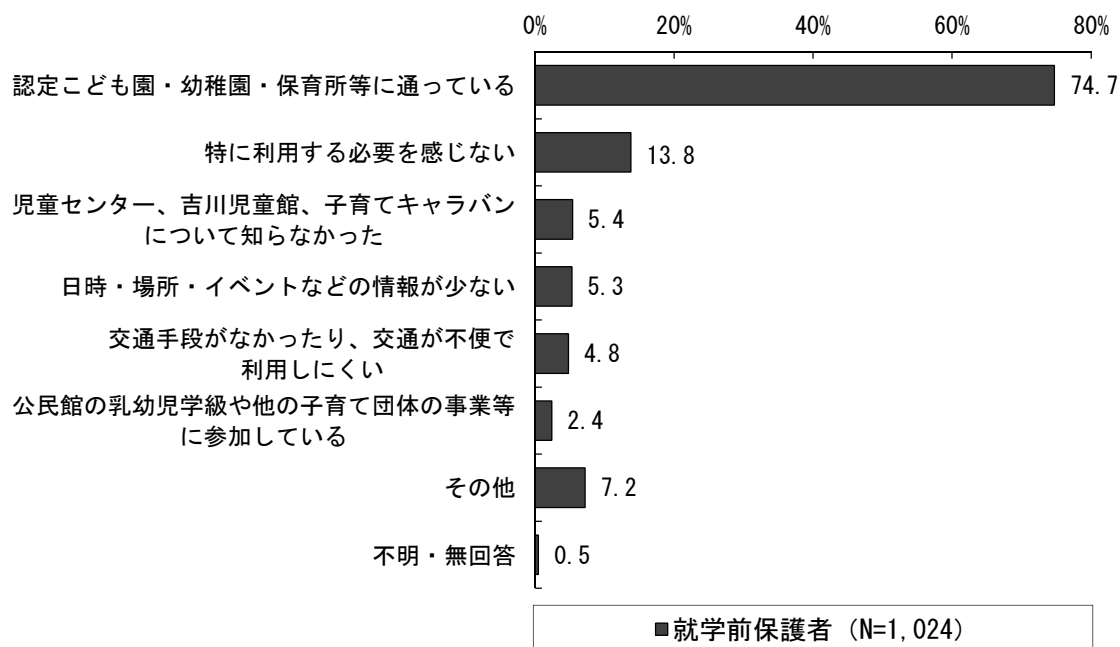
◎ひと月当たりの利用日数（就学前保護者のみ）《「利用していない」以外を選んだ方》

	児童センター N=234		吉川児童館 N=53		子育てキャラバン N=74	
	件数	%	件数	%	件数	%
1日	122	52.1	28	52.8	45	60.8
2日	40	17.1	11	20.8	10	13.5
3日	14	6.0	2	3.8	9	12.2
4日	12	5.1	2	3.8	5	6.8
5日	13	5.6	2	3.8	1	1.4
6日	1	0.4	0	0.0	0	0.0
7日	1	0.4	1	1.9	2	2.7
8日	1	0.4	1	1.9	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	11	4.7	1	1.9	0	0.0
不明・無回答	19	8.1	5	9.4	2	2.7

(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－1 利用していない理由(就学前保護者のみ)〈複数回答〉〔就学前…問 19-1〕

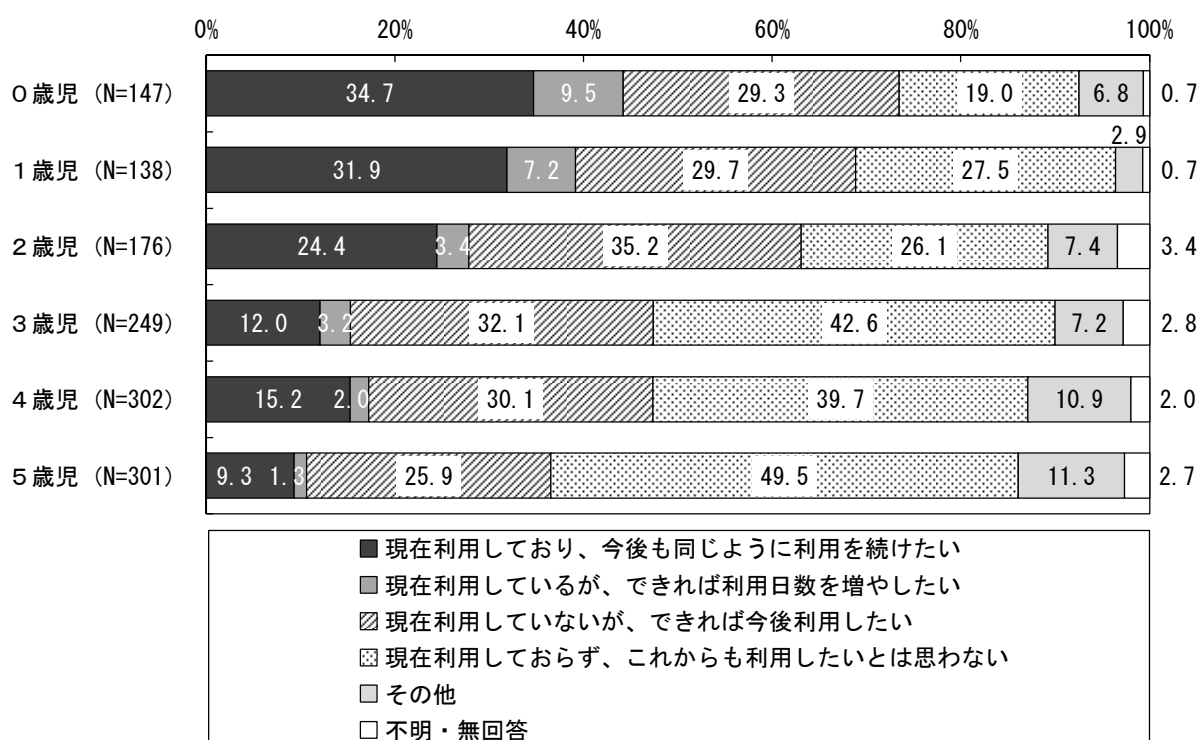
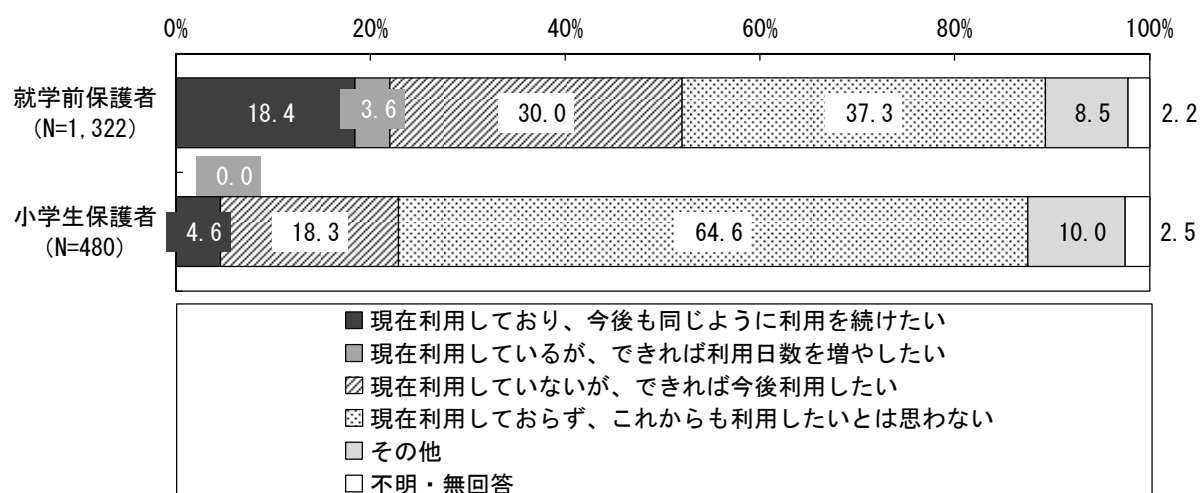
児童センター、吉川児童館等を利用していない理由についてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所等に通っている」が74.7%で最も多く、次いで「特に利用する必要を感じない」が13.8%となっています。



(2) 児童センター、吉川児童館等の今後の利用意向〔就学前…問 20、小学生…問 17〕

児童センター、吉川児童館等の今後の利用意向についてみると、「現在利用していないが、できれば今後利用したい」が就学前 30.0%、小学生 18.3%あり、潜在的なニーズがあることが示されています。

就学前保護者の回答を子どもの年齢別にみると、現在の利用は年齢が上がるほど少なくなりますが、「現在利用していないが、できれば今後利用したい」については年齢による差があまりありません。



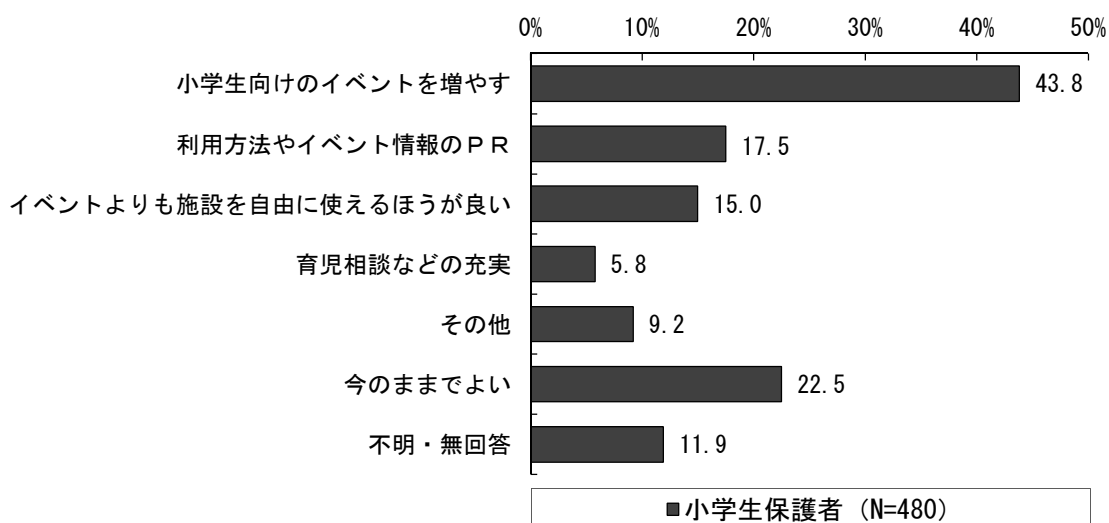
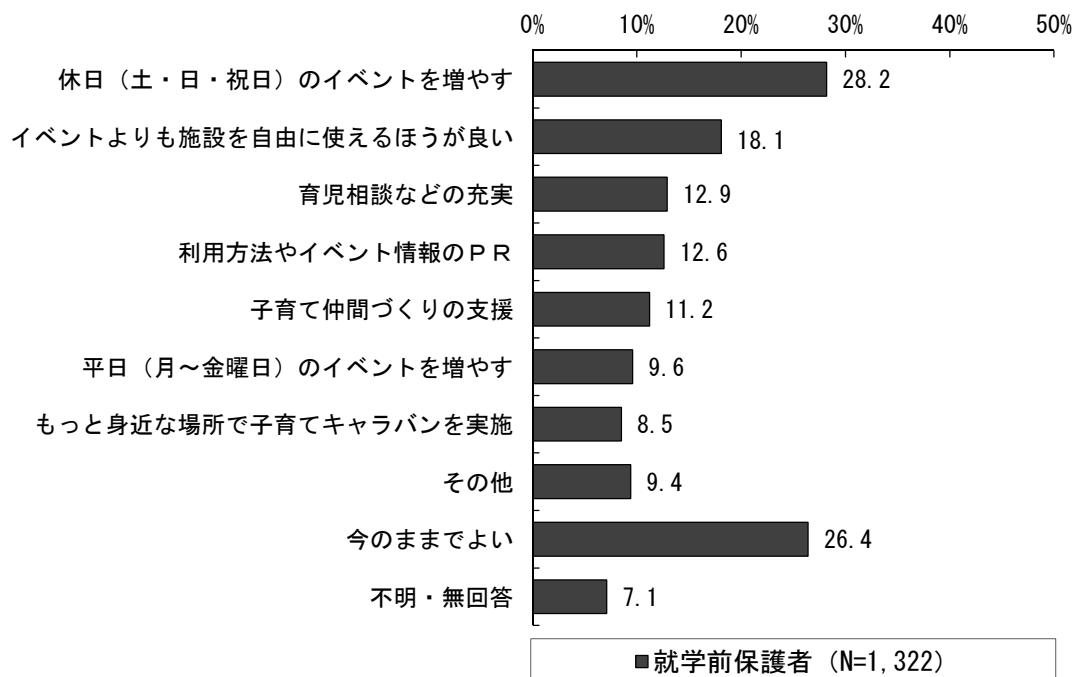
※アンケート調査に回答した人の集計のため、実際の児童センター、吉川児童館等の利用状況とは異なります。

(3) 児童センター、吉川児童館等の利用で、より充実してほしいこと〈複数回答〉

〔就学前…問 21、小学生…問 18〕

児童センター、吉川児童館等の利用で、より充実してほしいことについてみると、就学前では「休日（土・日・祝日）のイベントを増やす」が28.2%と最も多くなっています。小学生では「小学生向けのイベントを増やす」が43.8%と最も多くなっています。

「今のままでよい」については、就学前・小学生ともに2割台となっています。

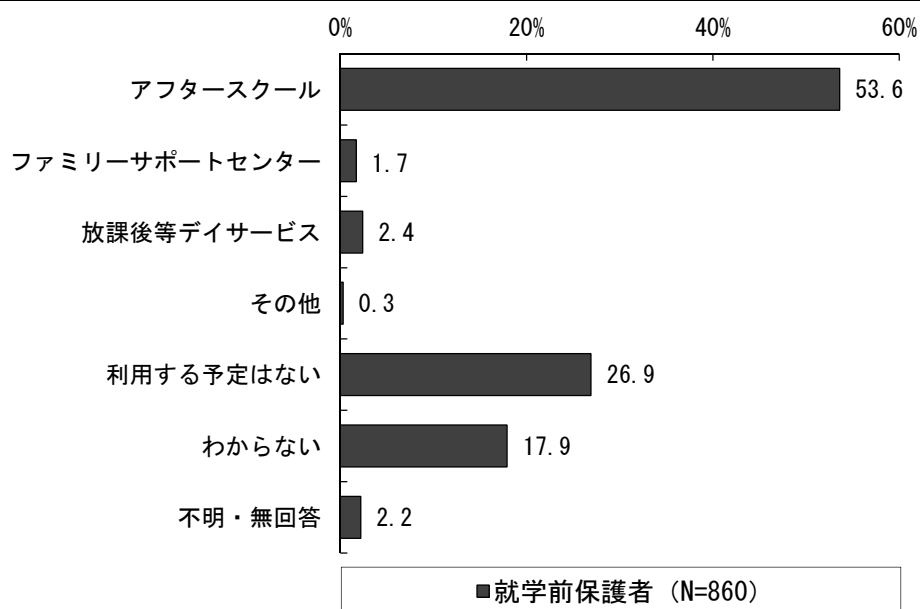


9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスの有無（3歳以上の就学前保護者のみ）〈複数回答〉〔就学前…問22〕

小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスについてみると、「アフタースクール」という回答は53.6%となっています。「利用する予定はない」は26.9%、「わからない」が17.9%あります。

利用したい週当たりの日数は、「アフタースクール」「放課後等デイサービス」は「5日」、「ファミリー・サポート・センター」は「1日」が多くなっています。利用したい学年については、「アフタースクール」「放課後等デイサービス」「ファミリー・サポート・センター」のいずれも「6年生」までが多くなっています。



◎利用したい週当たりの日数

就学前保護者	アフタースクール		ファミリーサポート・センター		放課後等デイサービス		その他	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	5	33.3	2	9.5	0	0.0
2日	4	0.9	3	20.0	2	9.5	0	0.0
3日	38	8.2	3	20.0	3	14.3	0	0.0
4日	34	7.4	0	0.0	2	9.5	0	0.0
5日	321	69.6	3	20.0	10	47.6	2	66.7
6日	38	8.2	1	6.7	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	26	5.6	0	0.0	2	9.5	1	33.3

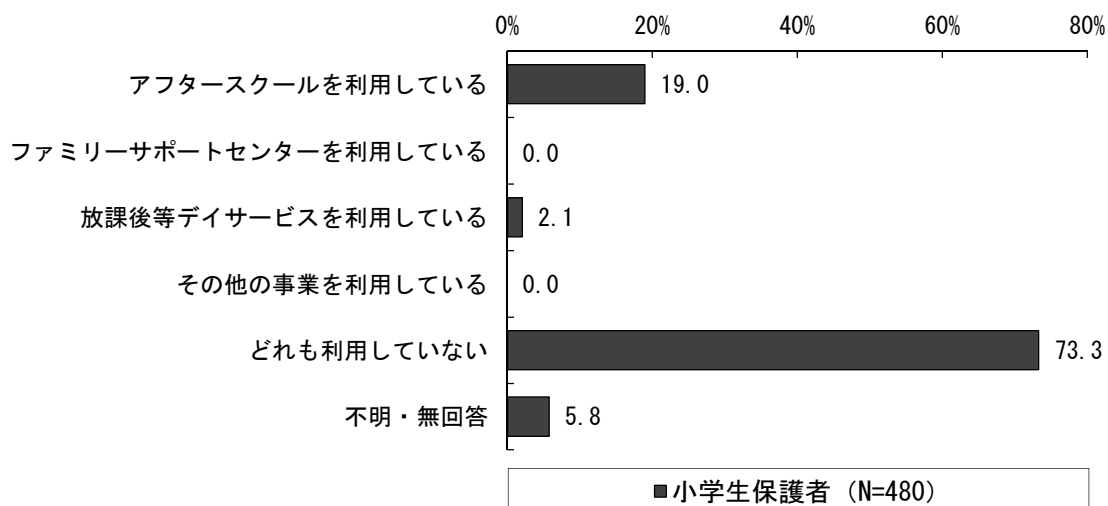
◎何年生まで利用したいか

就学前 保護者	アフター スクール		ファミリー サポート センター		放課後等 デイサー ビス		その他	
	N=461		N=15		N=21		N=3	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1年生	8	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2年生	22	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3年生	104	22.6	4	26.7	1	4.8	1	33.3
4年生	111	24.1	4	26.7	1	4.8	0	0.0
5年生	12	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6年生	181	39.3	7	46.7	18	85.7	1	33.3
不明・無回答	23	5.0	0	0.0	1	4.8	1	33.3

(2) アフタースクール等の放課後事業の利用の有無（小学生保護者のみ）〈複数回答〉

〔小学生…問9〕

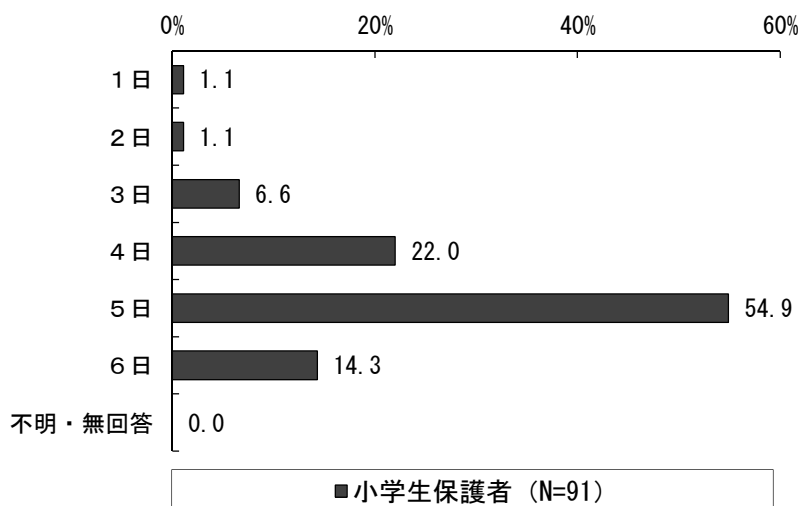
小学生では、「アフタースクールを利用している」が19.0%、それ以外の事業を含めて、何らかの放課後の事業を利用しているのは、全体の21.1%となっています。



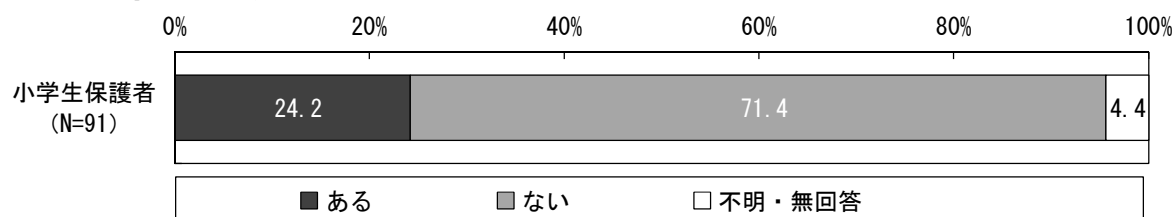
(2) で「アフタースクールを利用している」を選んだ方

(2) - 1 利用している週当たりの日数（小学生保護者のみ）〔小学生…問9-1〕

アフタースクールを利用している週当たりの日数についてみると、「5日」が54.9%で最も多く、次いで「4日」が22.0%となっています。土曜日の利用は24.2%が「ある」と回答しています。



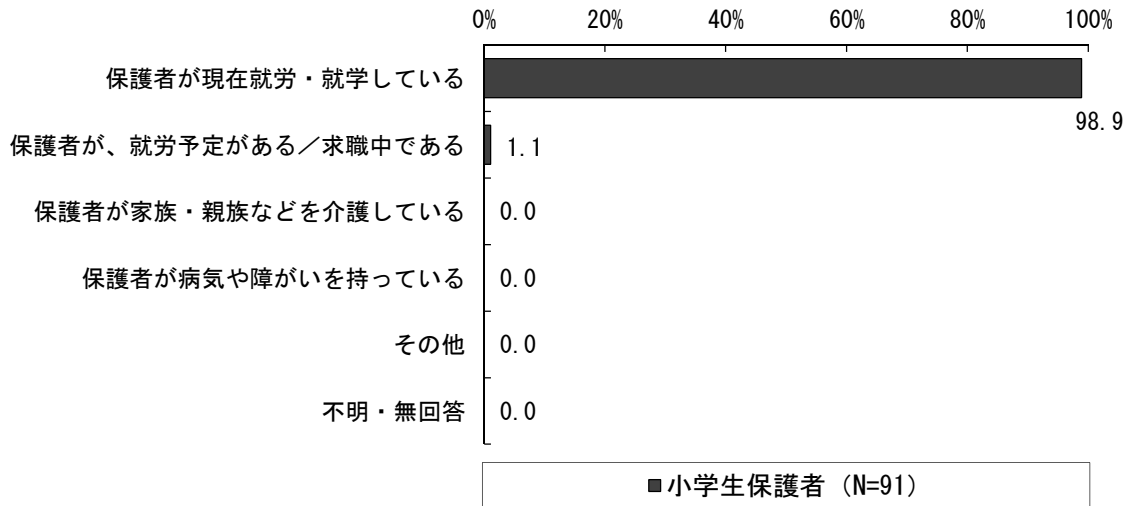
◎うち土曜日の利用 《「利用している」を選んだ方》



(2)で「アフタースクールを利用している」を選んだ方

(2)－2 利用している理由（小学生保護者のみ） [小学生…問9-1]

アフタースクールを利用している理由についてみると、「保護者が現在就労・就学している」が98.9%となっています。

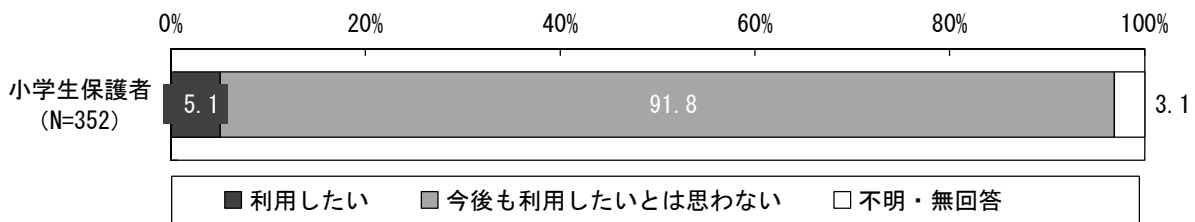


(2)で「どれも利用していない」を選んだ方

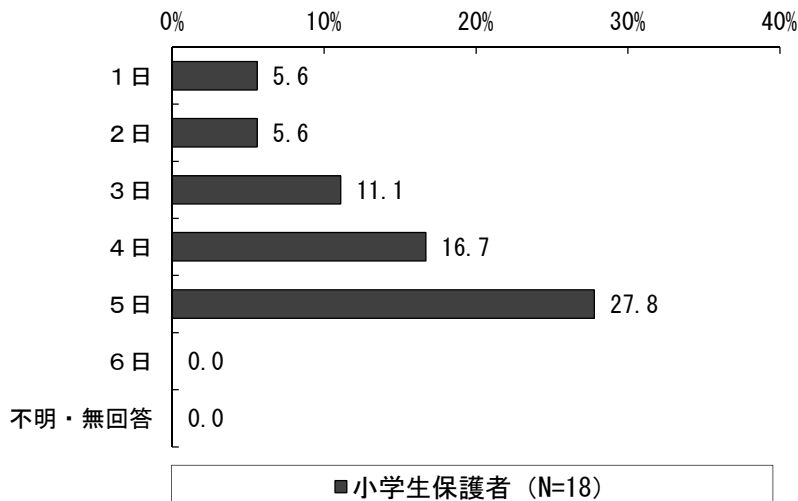
(3) 今後のアフタースクールの利用意向・利用希望日数（小学生保護者のみ）

[小学生…問9-2]

現在アフタースクールを利用していない人の今後のアフタースクールの利用意向についてみると、「利用したい」が5.1%あります。「利用したい」を選んだ方の週当たりの利用希望日数は、「5日」が27.8%で最も多くなっています。



◎週当たりの利用希望日数《「利用したい」を選んだ方》

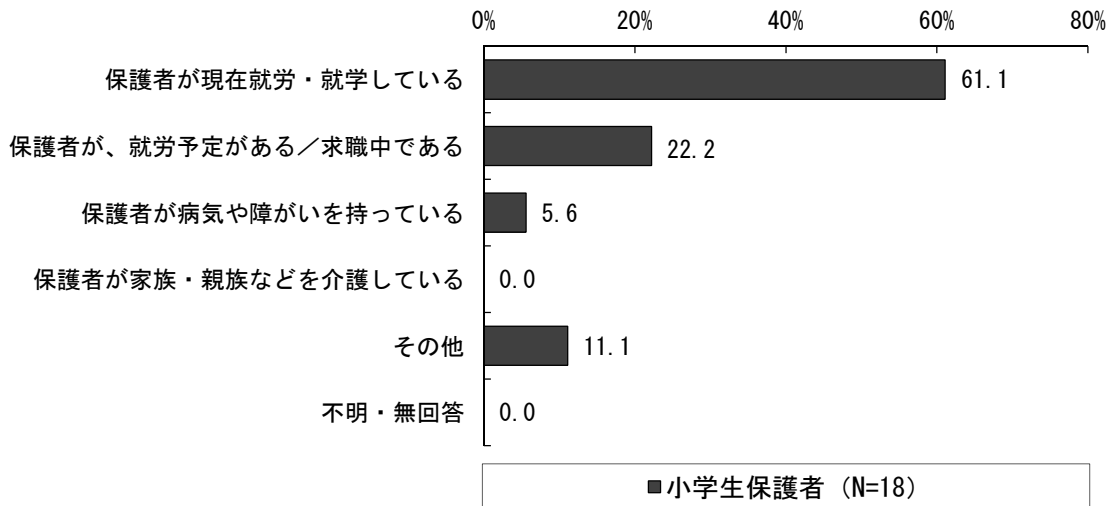


(3)で「利用したい」を選んだ方

(4) 今後、放課後にアフタースクールを利用したい理由（小学生保護者のみ）

[小学生…問9-3]

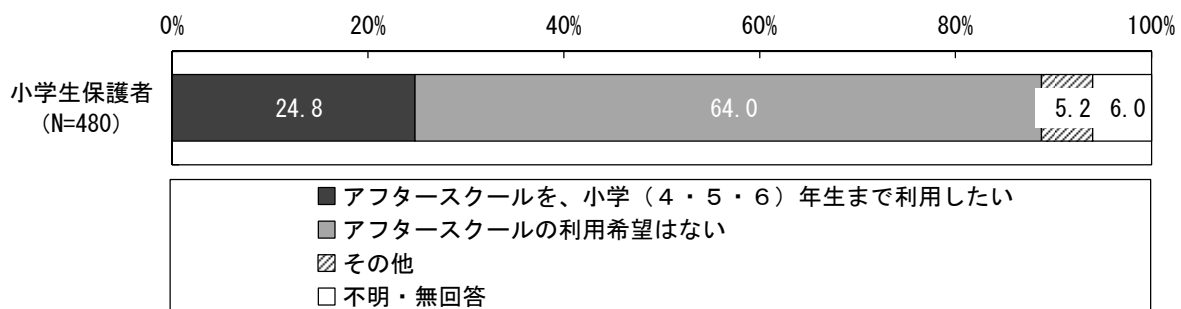
「保護者が現在就労・就学している」が61.1%で最も多く、次いで「保護者が、就労予定がある／求職中である」が22.2%となっています。



(5) 子どもの小学4年生以降（高学年）のアフタースクールの利用（小学生保護者のみ）

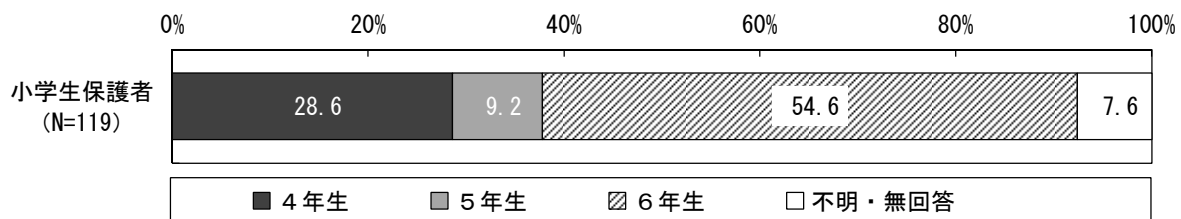
[小学生…問10]

小学4年生以降のアフタースクールの利用については、24.8%が「利用したい」と回答しています。また、その半数以上が「6年生」まで利用したいと回答しています。



◎アフタースクールを利用したい学年

《「アフタースクールを、小学（4・5・6）年生まで利用したい」を選んだ方》



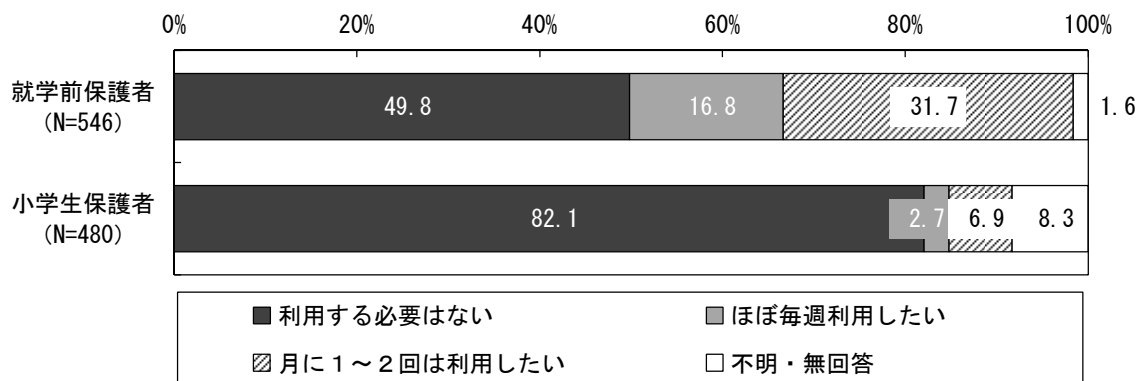
就学前は（１）で「アフタースクール事業を利用したい」を選んだ方

（６）土曜日と日曜日・祝日の放課後事業の利用希望〔就学前…問 22-1、小学生…問 11〕

アフタースクールの、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日は就学前で48.5%、小学生で9.6%が利用したい（「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」と回答しています。利用したい時間帯については、開始時刻は「8時台」、終了時刻は「18時台」という回答が最も多くなっています。

日曜日・祝日は就学前の22.9%、小学生の5.4%が利用したいと回答しています。

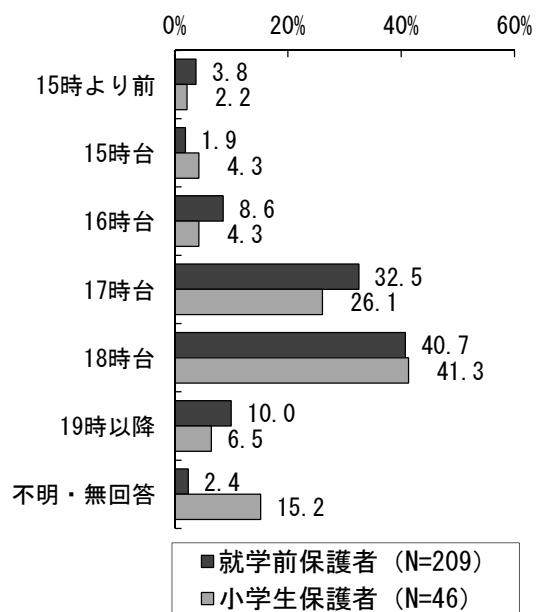
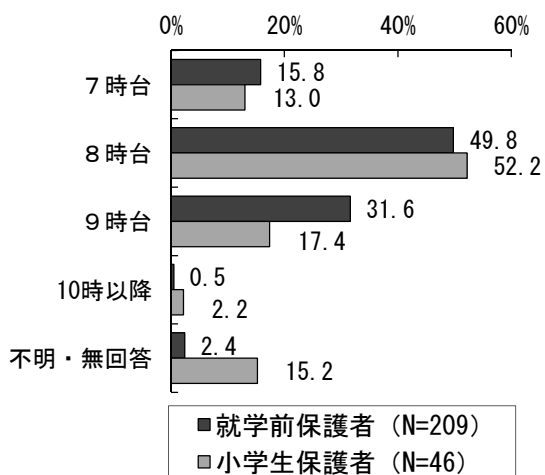
【土曜日】



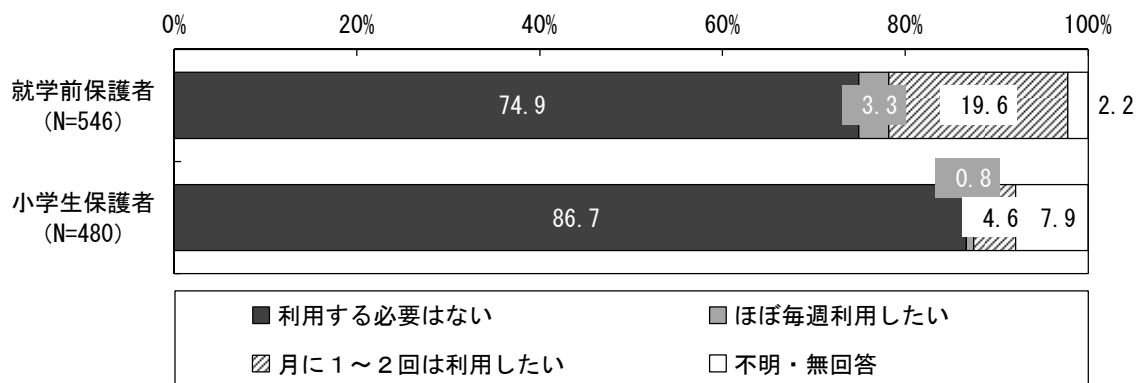
◎利用したい時間帯 《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

利用希望開始時刻

利用希望終了時刻



【日曜日・祝日】

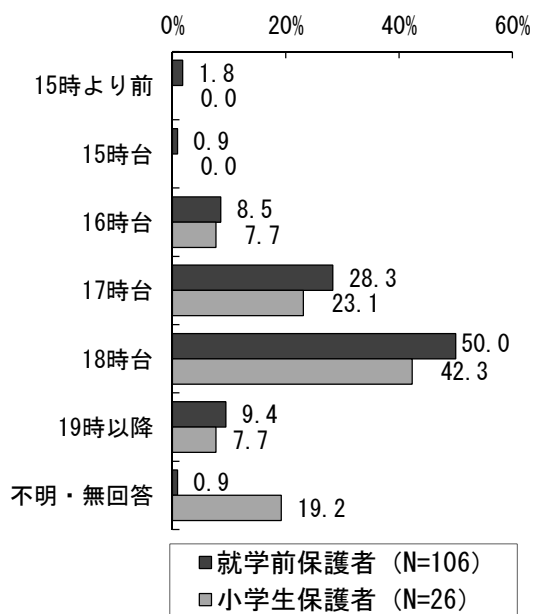
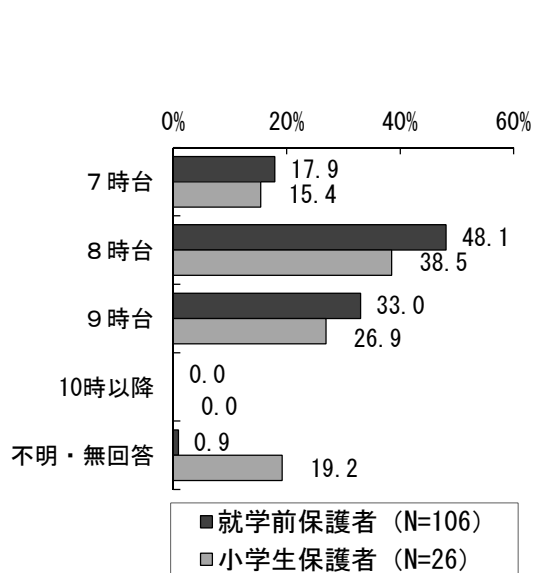


*事業の利用には、一定の利用料がかかる

◎利用したい時間帯 《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

利用希望開始時刻

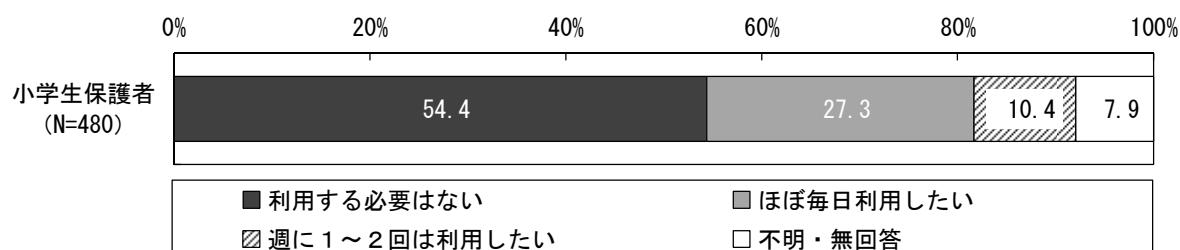
利用希望終了時刻



(7) 長期の休暇期間中(夏・冬・春休み)のアフタースクールの利用希望 (小学生保護者のみ) [小学生…問 12]

長期の休暇期間中の放課後事業の利用希望についてみると、小学生の27.3%が「ほぼ毎日利用したい」、10.4%が「週に1～2回は利用したい」と回答しています。

希望する利用時間帯については、開始時刻は8時台、終了時刻は17時台が最も多くなっています。

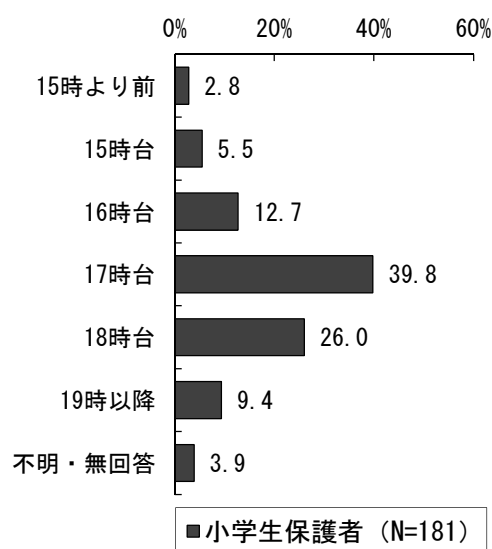
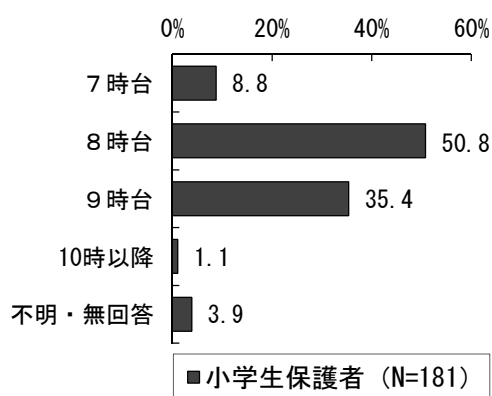


◎利用したい時間帯〈複数回答〉

《「ほぼ毎日利用したい」、「週に1～2回は利用したい」を選んだ方》

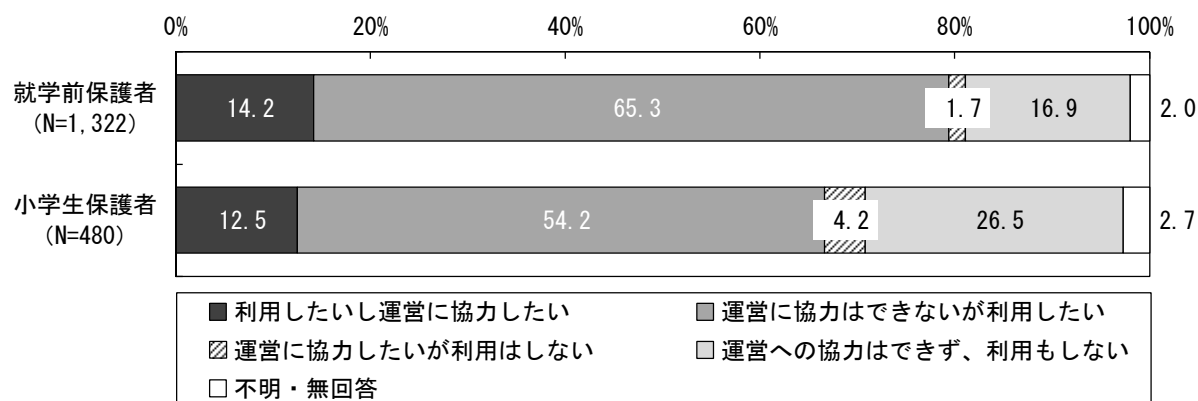
利用希望開始時刻

利用希望終了時刻



(8)「放課後子ども教室」への運営参画意向・利用意向〔就学前…問 23、小学生…問 13〕

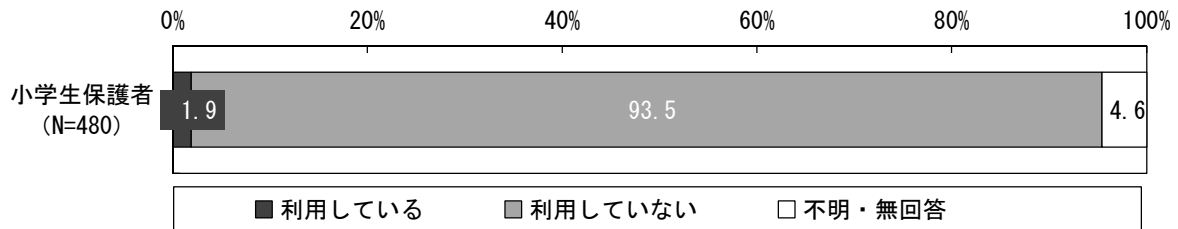
地域住民が主体となって、放課後や週末に子ども同士、子どもと大人の交流の機会をもうけ、体験及び学習活動を行う「放課後子ども教室」については、「利用したい」という回答（「利用したいし運営に協力したい」と「運営に協力はできないが利用したい」の合計）は、就学前保護者の79.5%、小学生保護者の66.8%に上りますが、「運営に協力したい」という回答（「利用したいし運営に協力したい」と「運営に協力はできないが利用はしない」の合計）は、就学前保護者の15.9%、小学生保護者の16.7%にとどまっています。



10 ファミリーサポートセンターの利用について（小学生保護者）

（1）ファミリーサポートセンターの利用状況〔小学生…問 19〕

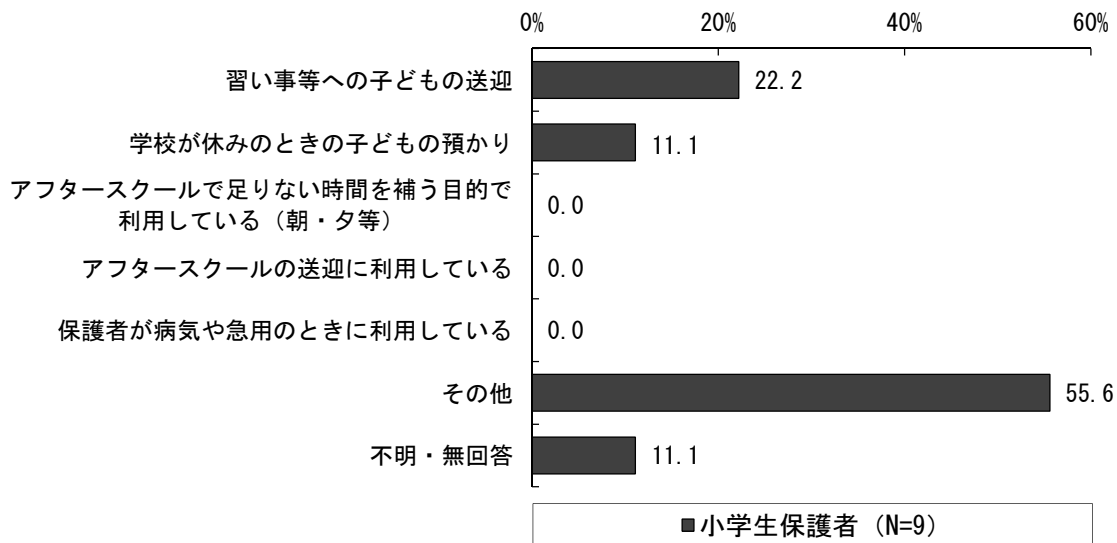
ファミリーサポートセンターについては、1.9%が「利用している」と回答しています。



（1）で「利用している」を選んだ方

（1）-1 利用している目的〈複数回答〉〔小学生…問 19-1〕

ファミリーサポートセンターの利用目的については、「習い事等への子どもの送迎」「学校が休みのときの子どもの預かり」「その他」の回答があります。

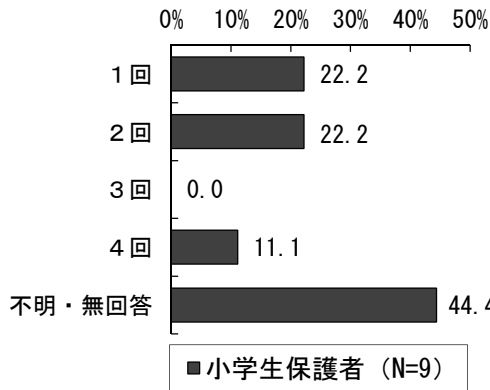


(1)で「利用している」を選んだ方

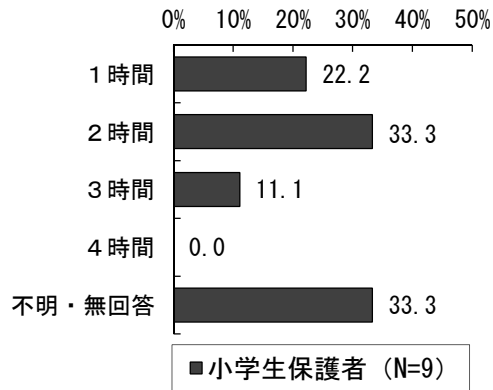
(1)－2 利用している日数・時間〔小学生…問 19-2〕

利用している日数については1～4回、1回当たりの時間については、1～3時間の回答があります。

ひと月当たり日数

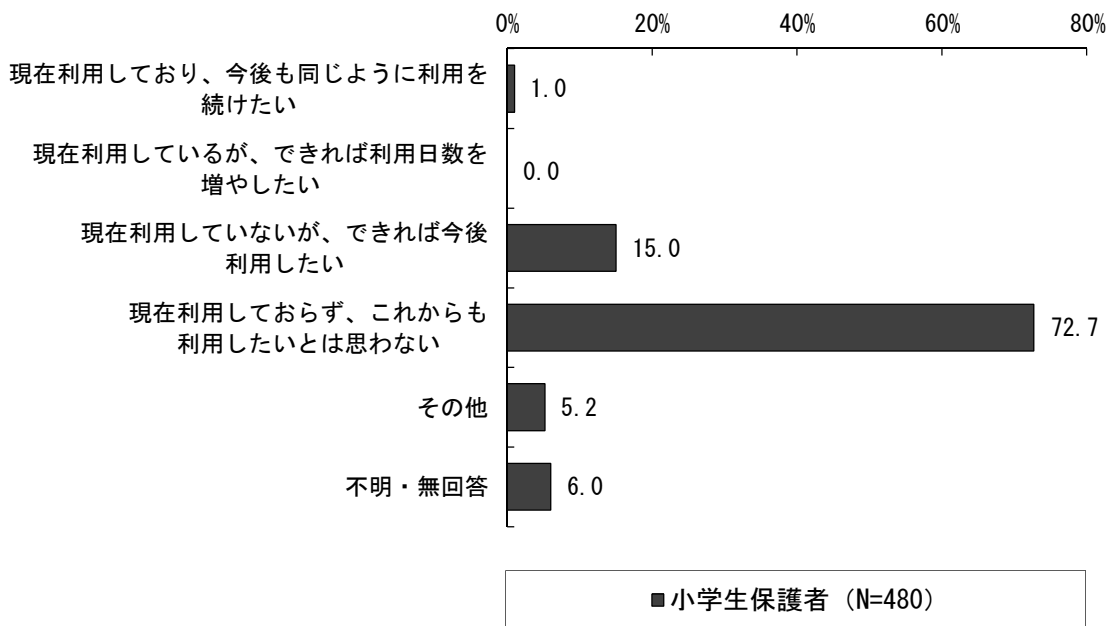


1回当たり時間



(2) ファミリーサポートセンターの今後の利用意向〔小学生…問 20〕

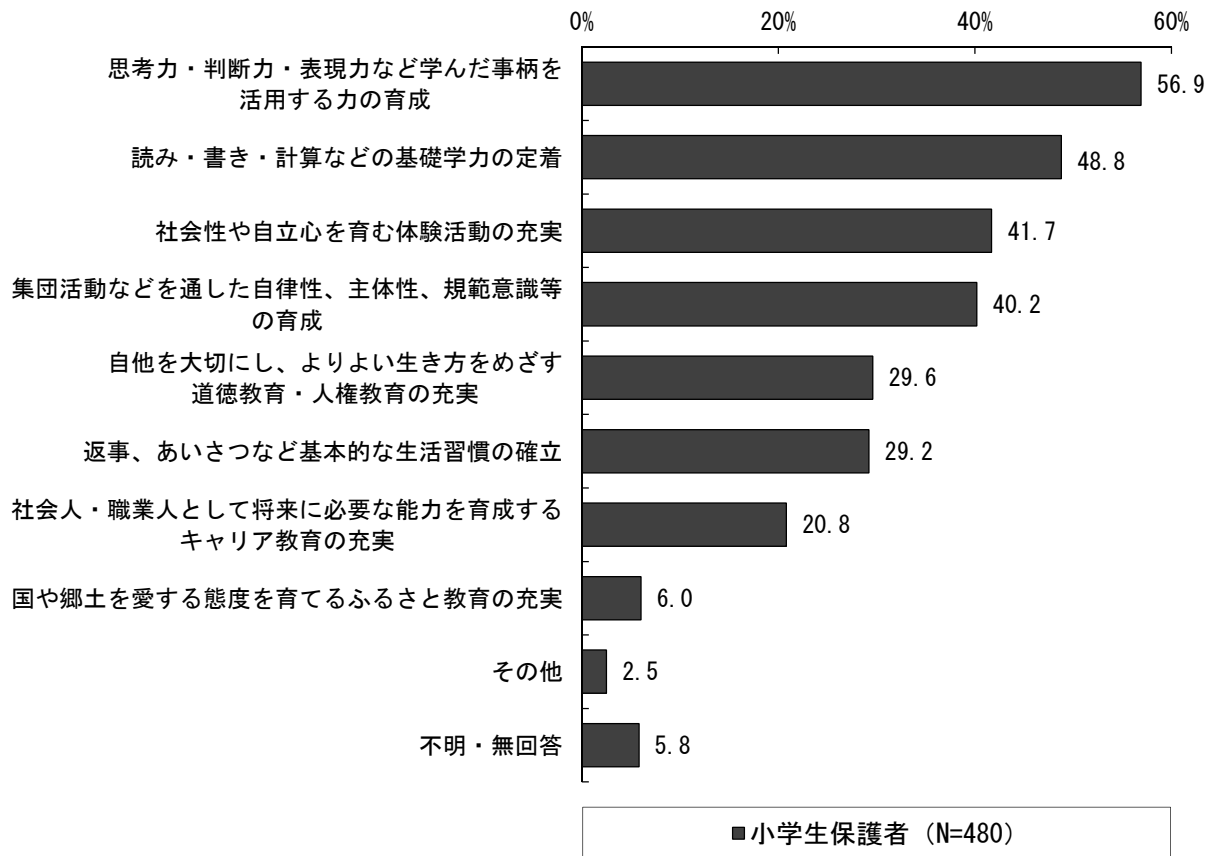
ファミリーサポートセンターの今後の利用意向については、15.0%が「現在利用していないが、できれば今後利用したい」と回答しており、潜在的な利用ニーズがあることが示されています。



11 学校教育について（小学生保護者）

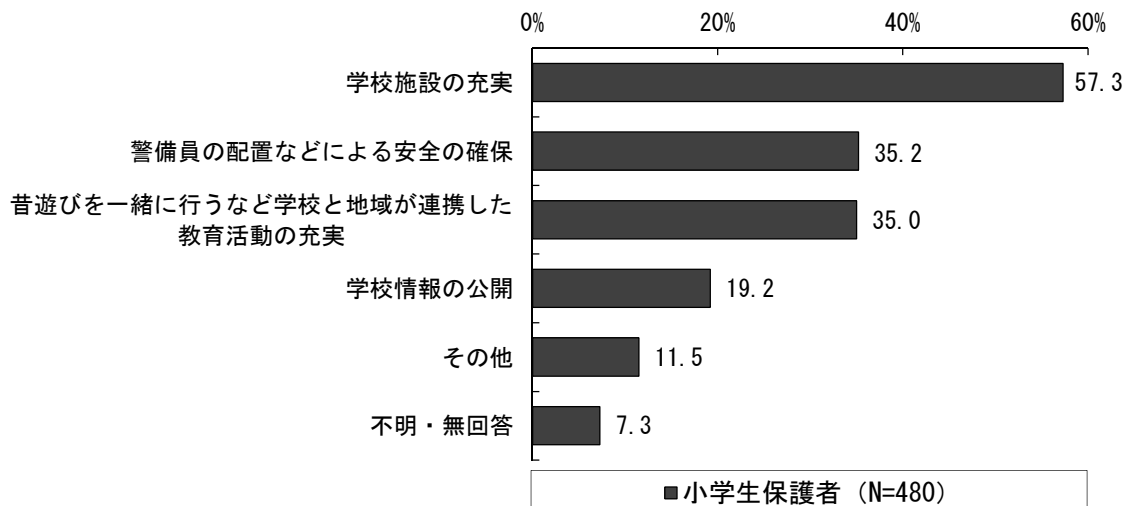
（1）三木市の教育内容について望むこと〈3つまで回答〉〔小学生…問 21〕

三木市の教育内容について望むことでは、「思考力・判断力・表現力など学んだ事柄を活用する力の育成」が 56.9%で最も多く、次いで「読み・書き・計算などの基礎学力の定着」が 48.8%となっています。



（2）学校の運営に関して望むこと〈2つまで回答〉〔小学生…問 22〕

学校の運営に関して望むことについては、「学校施設の充実」が 57.3%で最も多くなっています。

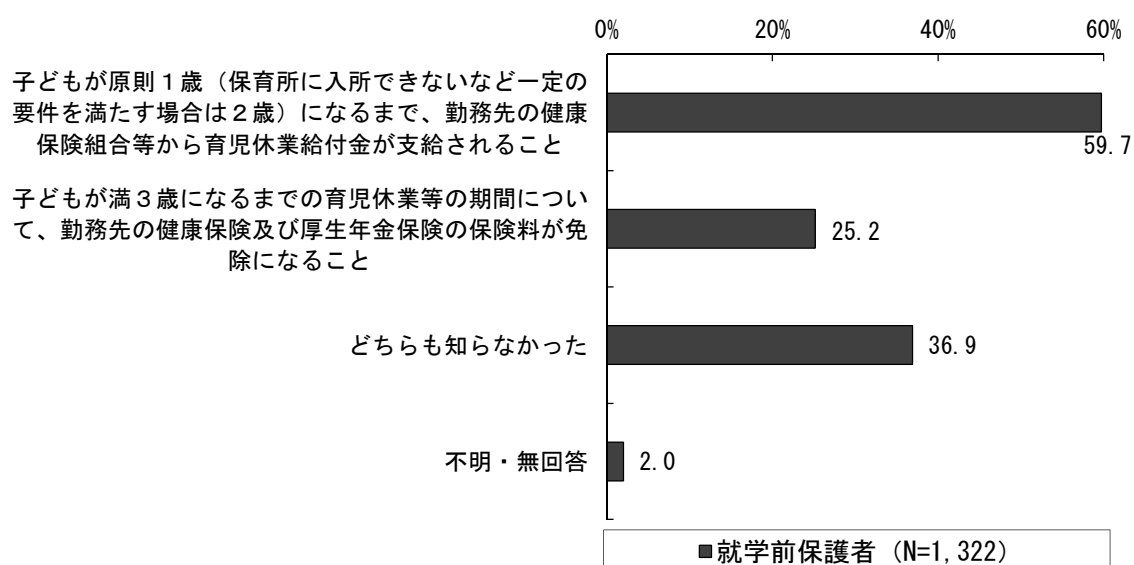


12 仕事と子育ての両立支援制度について（就学前保護者）

（1）育児休業制度について、次のことをご存知でしたか。〈複数回答〉

〔就学前…問 24〕

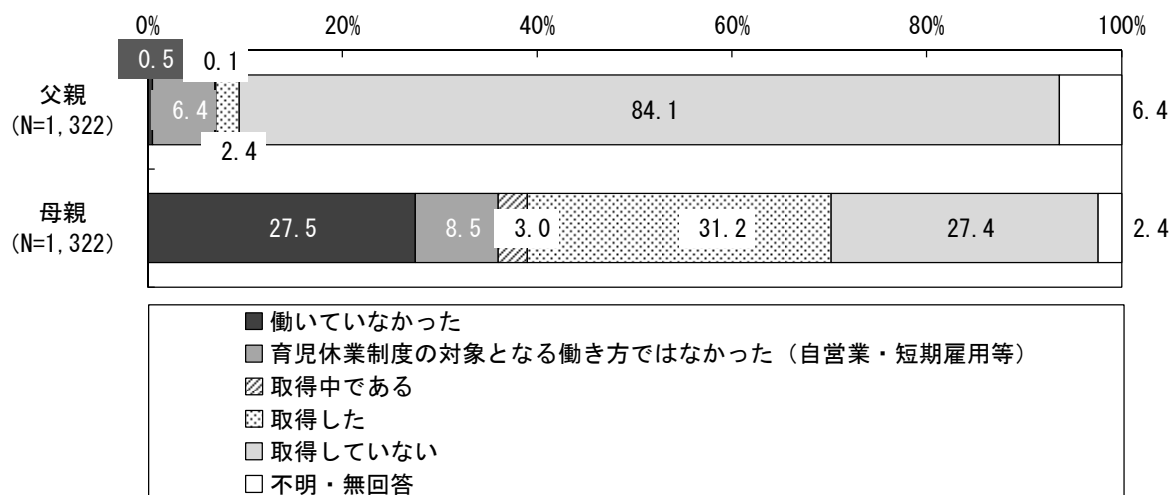
育児休業制度について知っていることでは、「子どもが原則1歳（保育所に入所できないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで、勤務先の健康保険組合等から育児休業給付金が支給されること」については59.7%の回答がありましたが、「子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、勤務先の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になること」は25.2%にとどまっています。また、「どちらも知らなかった」が36.9%あります。



(2) 子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〔就学前…問 25〕

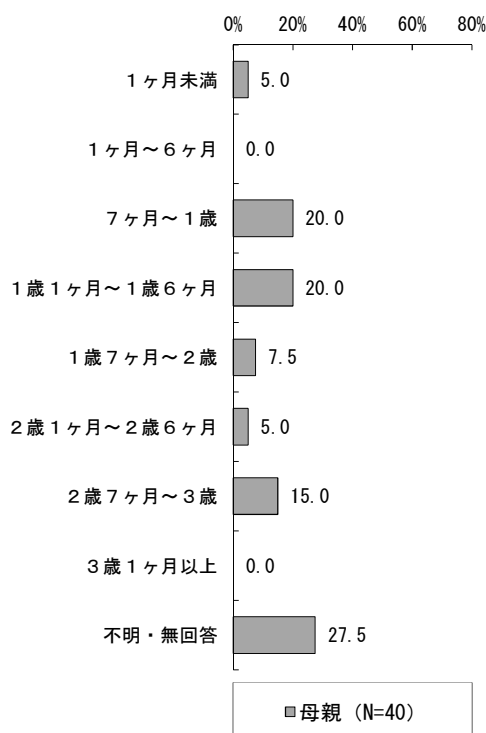
子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「取得した」または「取得中である」が34.2%、父親では2.5%となっています。

育児休業の取得日数についてみると、父親は1ヶ月未満、母親は7ヶ月～1歳という回答がそれぞれ最も多くなっています。

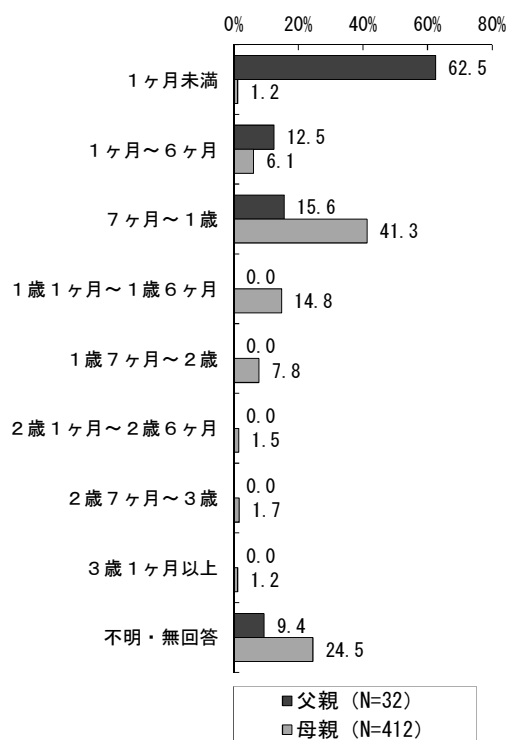


◎育児休業の取得日数

《「取得中である」を選んだ方》



《「取得した」を選んだ方》

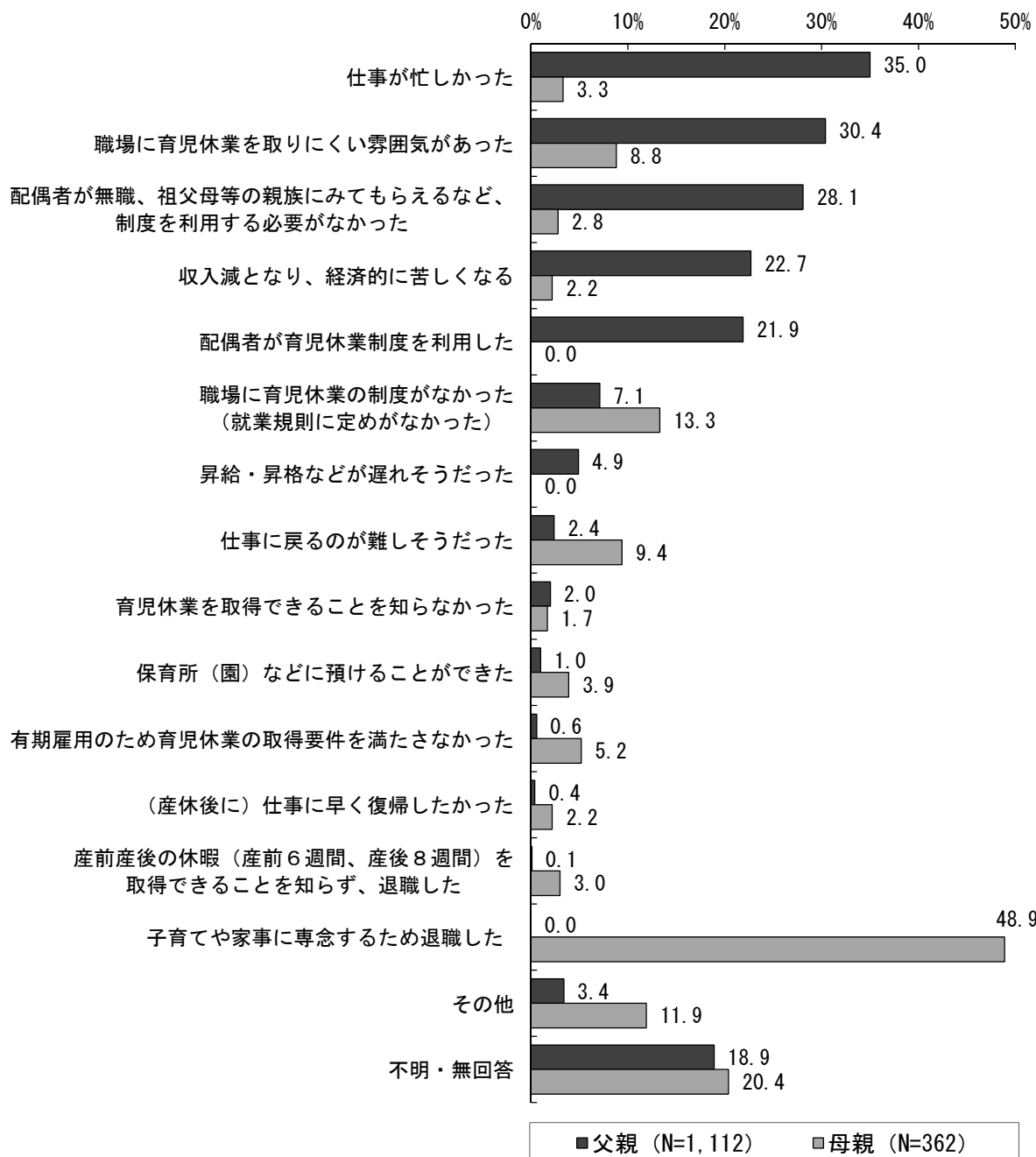


※父親 (N=1) は「不明・無回答」が1件

育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が48.9%で最も多くなっています。父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」がそれぞれ3割前後となっています。

◎取得していない理由〈複数回答〉

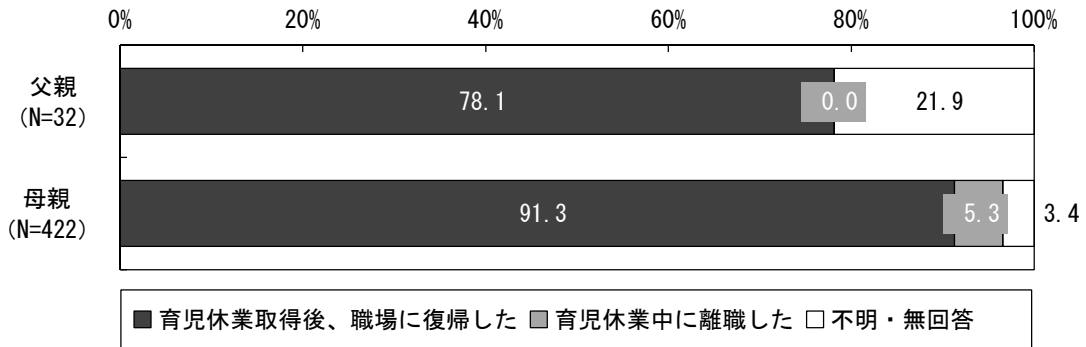
《「取得していない」を選んだ方》



(2)で「取得した」を選んだ方

(3) 育児休業取得後の職場復帰の有無〔就学前…問 25-1〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が回答のほとんどを占めています。

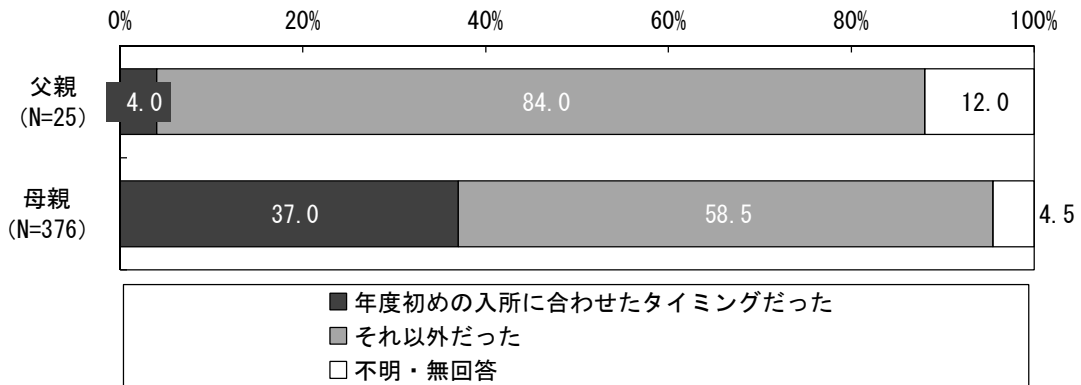


(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(4) 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか

〔就学前…問 25-2〕

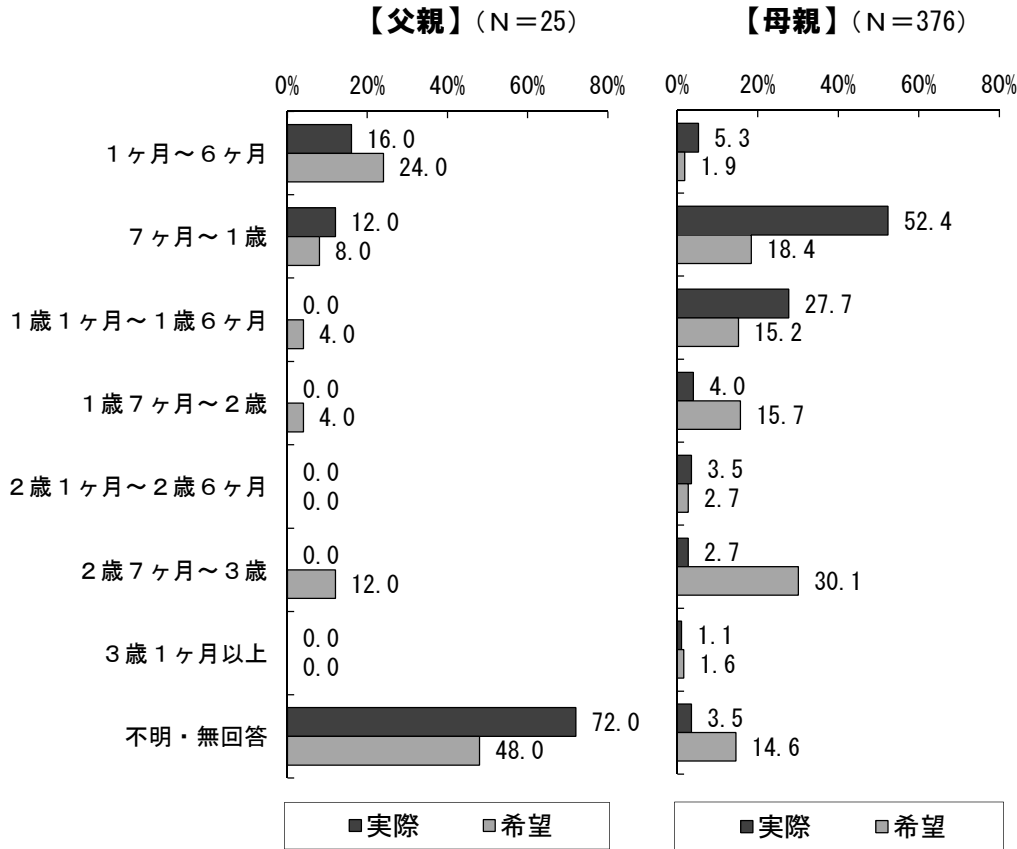
職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、「それ以外だった」が母親では58.5%、父親では84.0%と多くなっています。



(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(5) 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか
また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したか
たか〔就学前…問 25-3〕

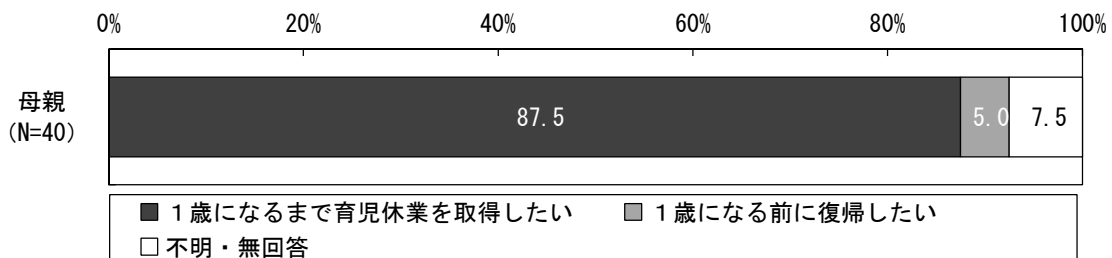
育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では実際は「7ヶ月～1歳」が半数を超えているのに対し、希望では「2歳7ヶ月～3歳」が30.1%で最も多くなっています。父親については、実際、希望ともに「1ヶ月～6ヶ月」が多くなっています。



(2)で「取得中である」を選んだ方

(6) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〔就学前…問 25-4〕

現在も育児休業中の人で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では87.5%が「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答しており、「1歳になる前に復帰したい」は5.0%にとどまっています。



※父親 (N=1) は「不明・無回答」が1件

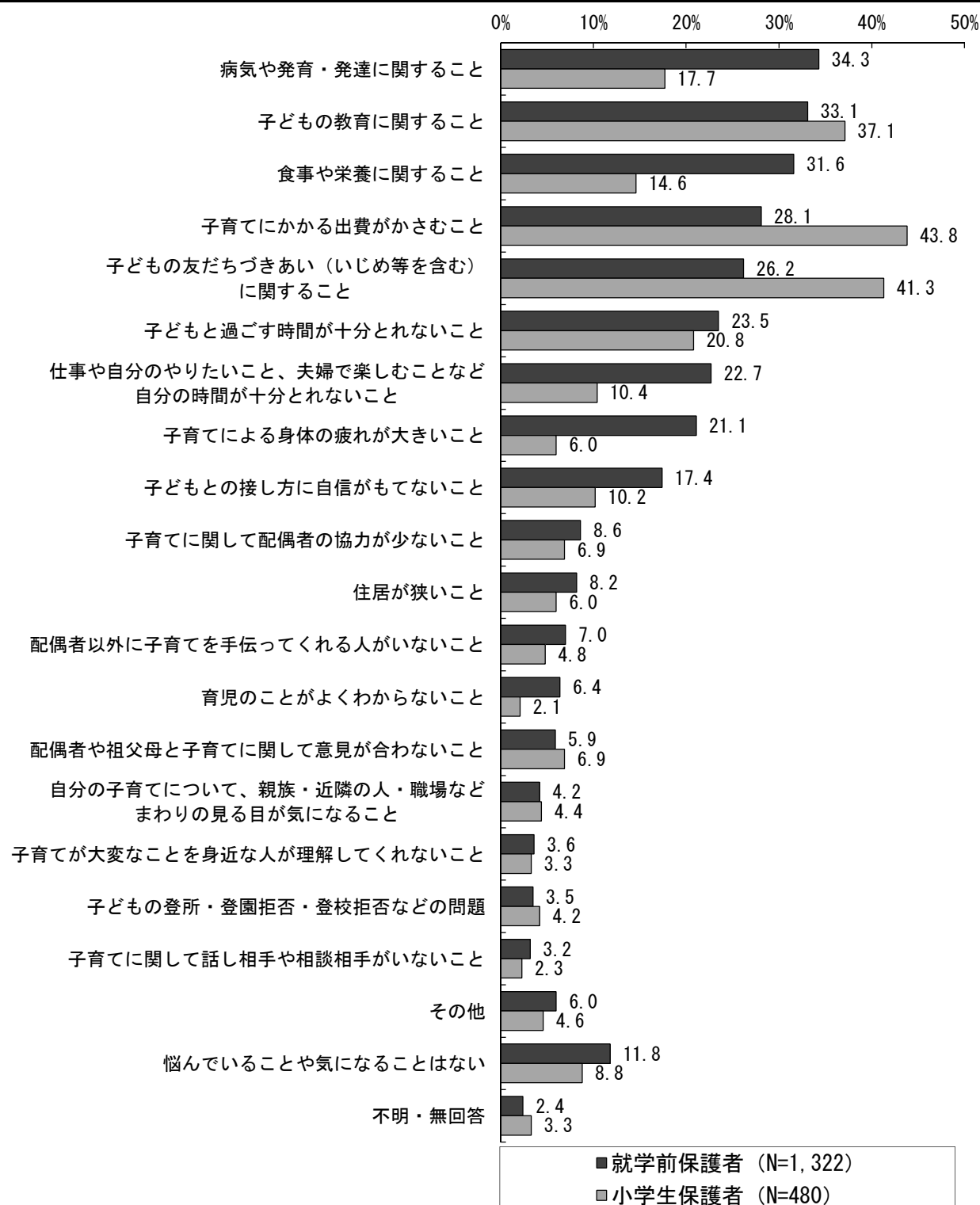
13 子育てについて悩んでいることについて

(1) 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になること〈複数回答〉

〔就学前…問 26、小学生…問 23〕

子育てで悩んでいることや、気になることとしては、就学前では「病気や発育・発達に関すること」「子どもの教育に関すること」「食事や栄養に関すること」がいずれも3割台で多くなっています。

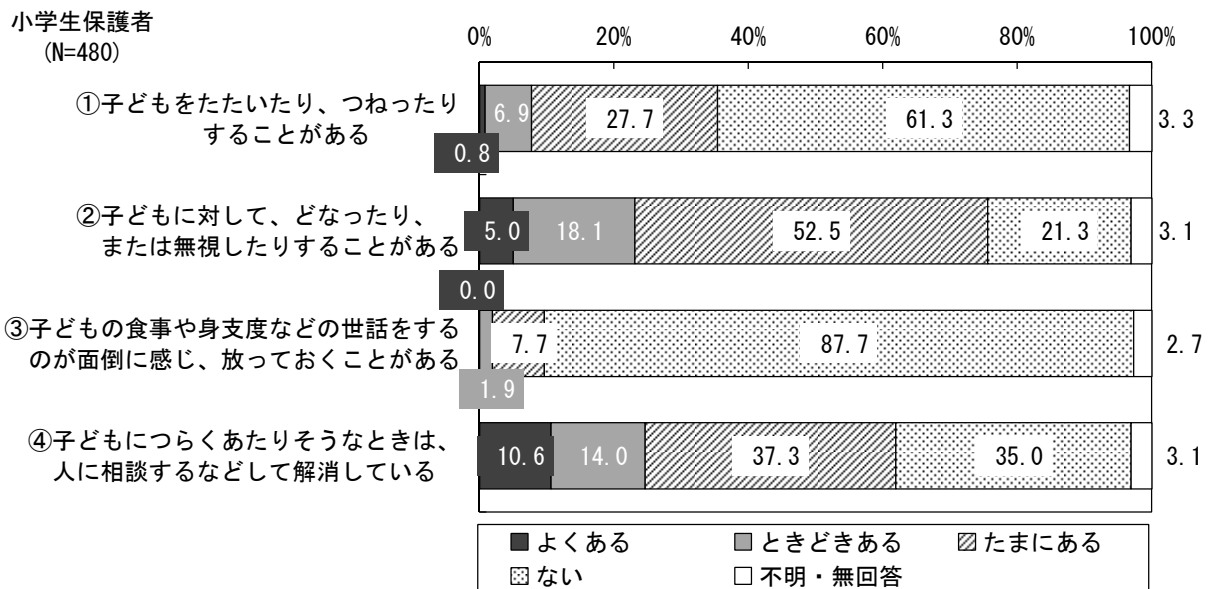
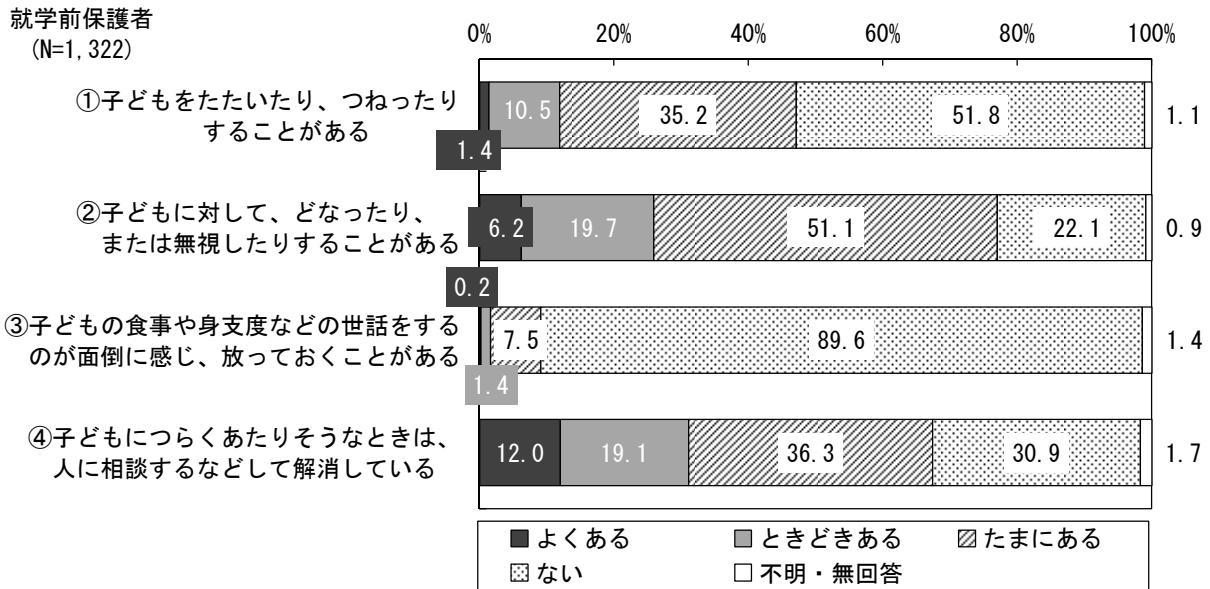
小学生では「子育てにかかる出費がかさむこと」「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」「子どもの教育に関すること」がそれぞれ4割前後で多くなっています。



(2) 子育てをしていて、子どもにつらくあたってしまうようなことの有無

〔就学前…問 27、小学生…問 24〕

子育ての悩みや不安から、子どもにつらくあたってしまうことの有無について、「子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある」については、就学前、小学生ともに2割台が「よくある」または「ときどきある」と回答しています。



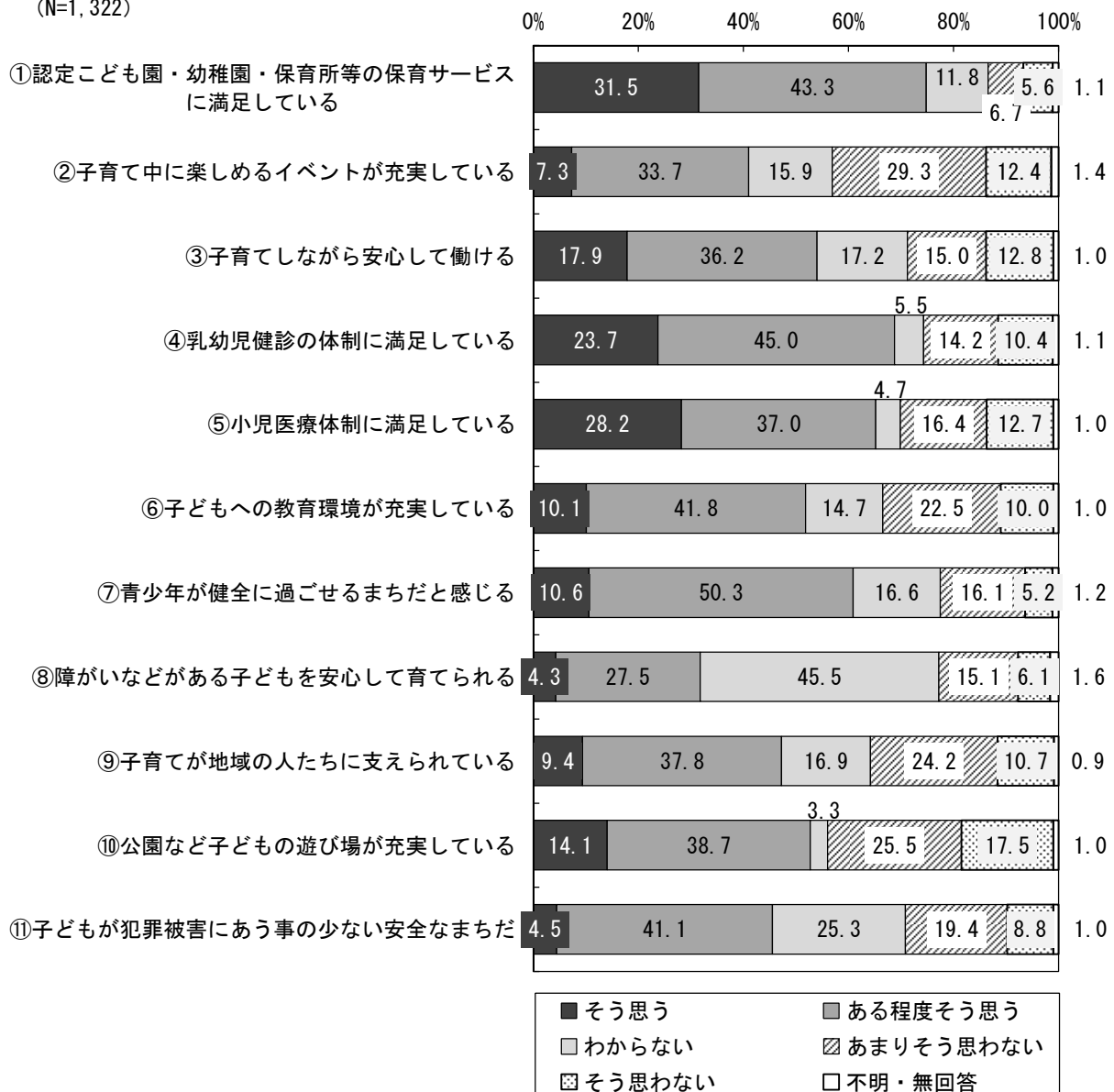
14 三木市の子育て環境全般について

(1) 三木市の子育て環境等に関して感じる事〔就学前…問 28、小学生…問 25〕

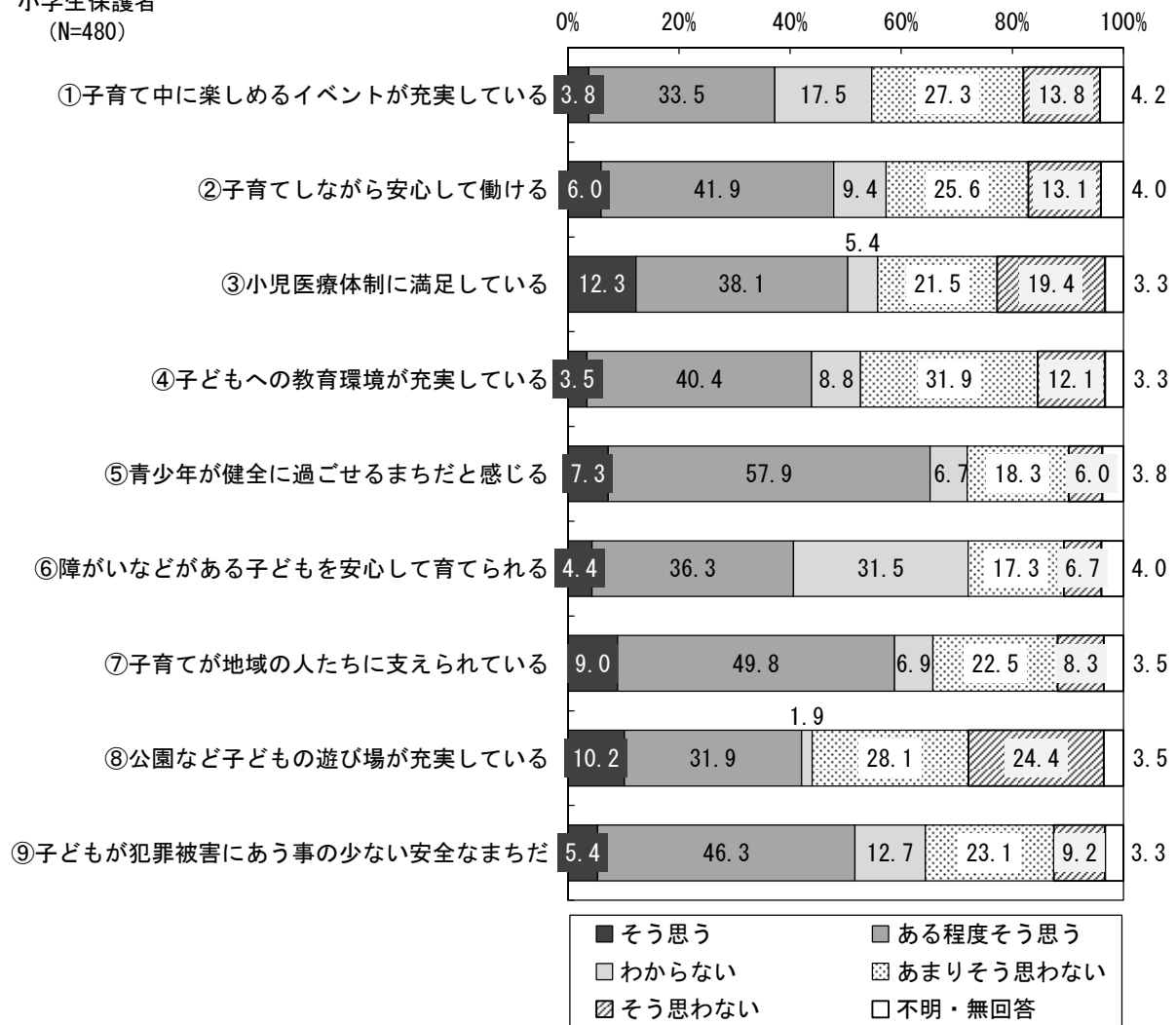
「認定こども園・幼稚園・保育所等の保育サービスに満足している」「乳幼児健診の体制に満足している」「青少年が健全に過ごせるまちだと感じる」については、肯定的な回答（そう思う+ある程度そう思う）が就学前、小学生ともに6割を超えており、就学前の「小児医療体制に満足している」も同様です。

一方、「子育て中に楽しめるイベントが充実している」「公園など子どもの遊び場が充実している」は就学前、小学生ともに、否定的な回答（あまりそう思わない+そう思わない）が4割を超えており、他の項目と比べて多くなっています。小学生の「小児医療体制に満足している」「子どもへの教育環境が充実している」も同様です。

就学前保護者
(N=1,322)

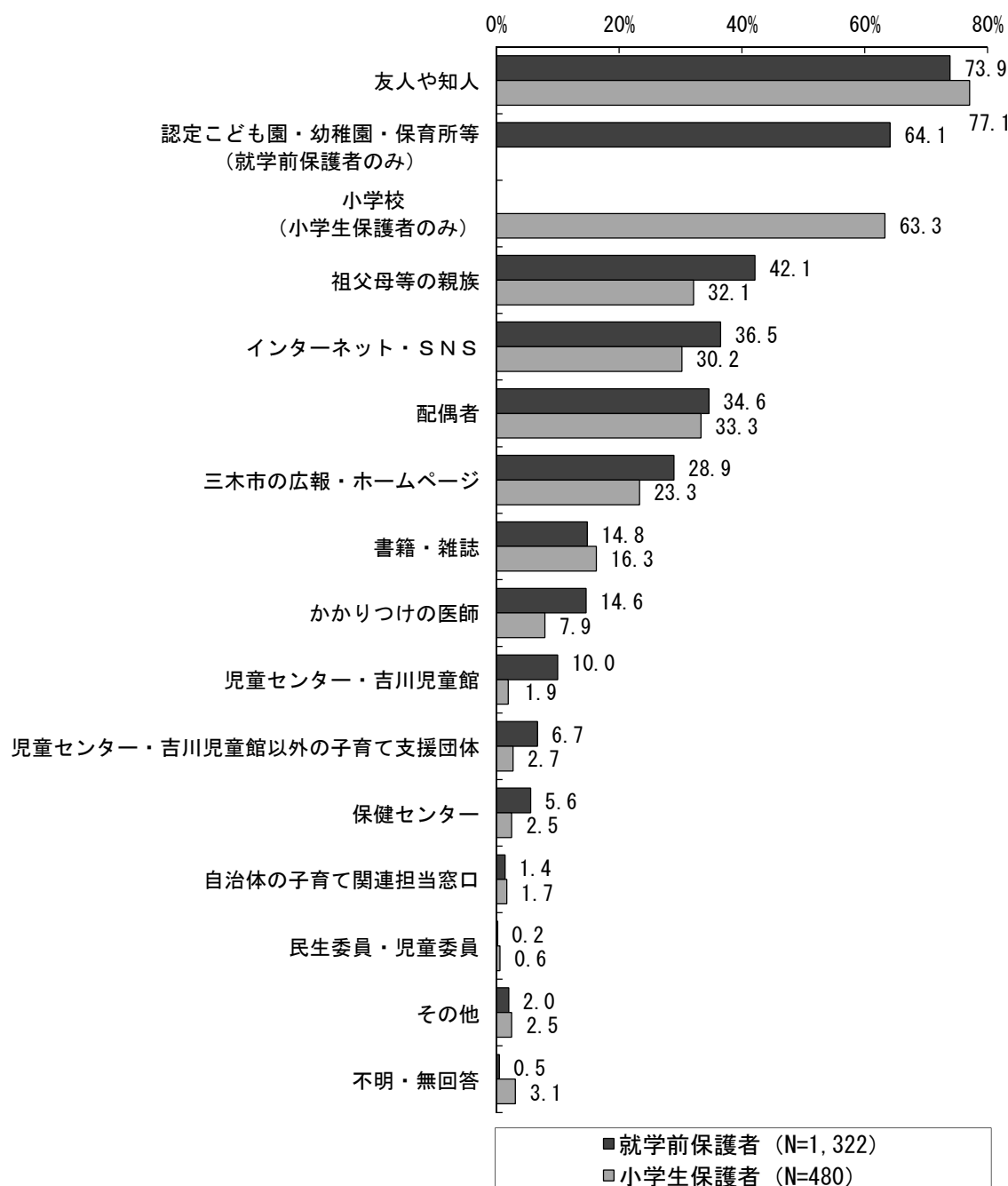


小学生保護者
(N=480)



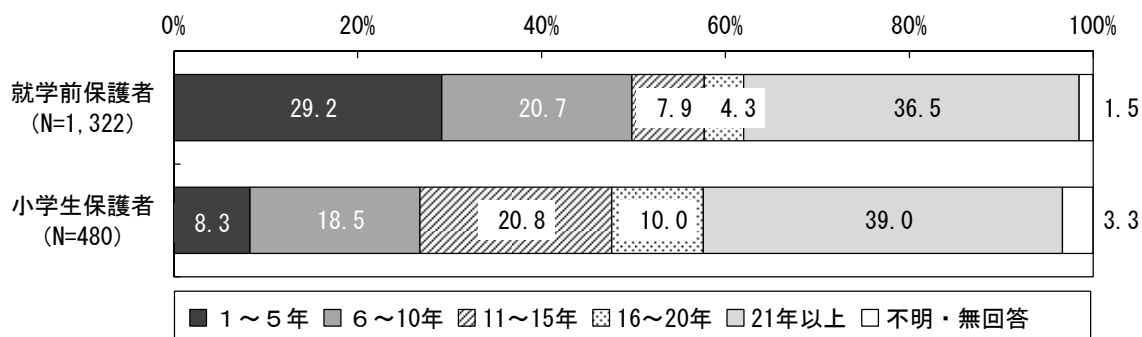
(2) 子育て情報の主な収集先〈複数回答〉〔就学前…問 29、小学生…問 26〕

子育て情報の主な収集先について、就学前、小学生ともに「友人や知人」が7割を超えて最も多くなっています。次いで、就学前では「認定こども園・幼稚園・保育所等」(就学前保護者のみ)、小学生では「小学校」(小学生保護者のみ)が多くなっています。



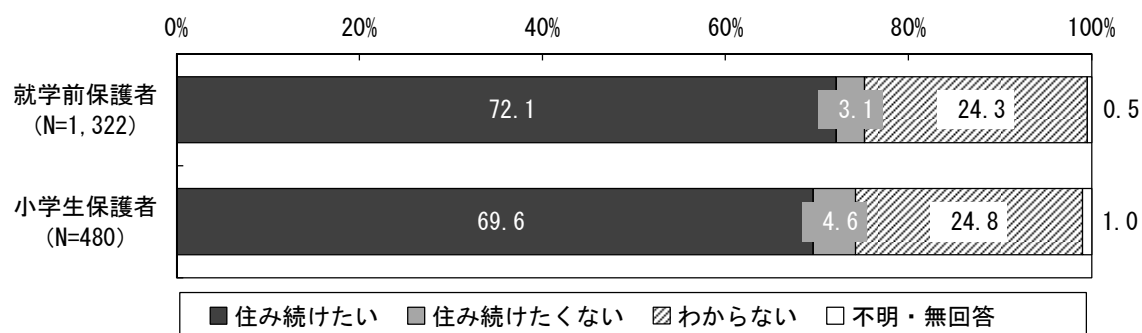
(3) 居住年数〔就学前…問 30、小学生…問 27〕

三木市での居住年数についてみると、子どものころから三木市に居住していたと考えられる「21年以上」は、就学前、小学生ともに3割を超えています。10年以下の回答は、就学前では49.9%、小学生では26.8%となっています。



(4) 居住希望〔就学前…問 31、小学生…問 28〕

居住希望についてみると、就学前、小学生ともに、今後も三木市に「住み続けたい」が7割前後となっており、「住み続けたくない」は少数です。



15 自由記述回答

アンケート末尾の自由記述回答欄（最後に、三木市における子育ての支援や教育・保育サービスの充実について、ご意見やご提案があれば、ご自由にご記入ください）には、就学前児童保護者 590 件、小学生児童保護者 212 件の回答がありました。回答を分野・内容別に集約した結果をまとめています。一つの回答に複数の項目の意見が含まれているものがあるため、回答件数と各項目の回答数の合計は一致しません。

（１）就学前施設について（就学前 187 件、小学生 9 件）

	就学前	小学生	合計
職員の資質の向上	16	1	17
休日や長期休暇保育の実施	17	0	17
公立幼稚園の存続・廃止について	9	3	12
施設の格差（公立私立間、地域間）をなくしてほしい	12	0	12
教育・保育内容の改善・充実	11	0	11
保護者の実情に合わせた保育をしてほしい	11	0	11
保育園に入れなかった	11	0	11
育児休業中の入所（継続入所）を可能にしてほしい	11	0	11
保育施設や定員を増やしてほしい	9	1	10
求職中を理由とした申込みでは入所しにくく、結果として就労できない	8	0	8
育児休業中には 1 号認定での入所に変更になることへの不満（引き続き、2 号として認定してほしい。）	8	0	8
施設の充実・改築・更新	7	0	7
幼保一体化（認定こども園化）への不満	4	2	6
保育料負担が大きい・無償化を進めてほしい	6	0	6
利用調整結果通知を早く送ってほしい。選考基準を分かりやすくしてほしい	6	0	6
待機児童をなくしてほしい	5	0	5
保育士の処遇改善・人材確保	5	0	5
預かり時間を拡大してほしい（延長等）	4	0	4
通園バスを走らせてほしい	3	0	3
認定こども園での 1 号と 2・3 号の差をなるべくなくしてほしい	3	0	3
きょうだいで同じ園に通えるようにしてほしい	3	0	3
近くの施設に通えるようにしてほしい	2	0	2
公立幼稚園の 3 年保育をしてほしい	1	0	1
その他	15	2	17
合計	187	9	196

(2) 医療・健康について (就学前 89 件、小学生 19 件)

	就学前	小学生	合計
休日診療や夜間救急の充実	16	11	27
母子の健康に対する要望 (乳幼児健診など)	22	0	22
医療費助成制度への感謝や拡充の希望	15	3	18
小児科の充実	15	0	15
インフルエンザ予防接種への補助	7	3	10
医療体制の充実	5	0	5
産科の充実	3	0	3
院内で子どもをみてほしい	2	0	2
その他	4	2	6
合計	89	19	108

(3) 公園・子どもの遊び場について (就学前 89 件、小学生 27 件)

	就学前	小学生	合計
公園・広場の増設	26	5	31
公園の環境改善	25	4	29
屋内で遊べる施設の増設	15	5	20
みきっこランドの充実	11	2	13
子どもが安心して遊べる場所の整備	5	5	10
公園でボール遊びができるようにしてほしい	1	2	3
放課後に校庭を開放してほしい	0	2	2
その他	6	2	8
合計	89	27	116

(4) 学校教育について (就学前 75 件、小学生 49 件)

	就学前	小学生	合計
学校の統廃合・小中一貫校の新設への不満・懸念	16	9	25
教育内容の充実、学力の向上	8	14	22
英語教育	12	0	12
教員の資質の向上・充実	2	6	8
学校区外・市外の学校へ通う	7	1	8
設備の充実・改築	5	1	6
集団登校・下校への不満	3	1	4
P T A 活動等の負担軽減	4	0	4
放課後子ども教室を実施してほしい	4	0	4
学用品や制服等への不満	4	0	4
学校給食がおいしくない	0	4	4
いじめ・不登校への対策	0	3	3
放課後の過ごし方	0	3	3
その他	10	7	17
合計	75	49	124

(5) 児童センター・児童館等について (就学前 62 件、小学生 9 件)

	就学前	小学生	合計
児童館の設備の充実・更新	19	1	20
教室・イベント等の開催・交流の機会	16	0	16
感謝(支えてもらった、相談できた)	7	2	9
児童館をつかってほしい	4	2	6
児童館が遠くて不便	5	0	5
児童館での一時預かり	2	0	2
PR不足	2	0	2
小学生は行きづらい	0	2	2
その他	7	2	9
合計	62	9	71

(6) 経済的支援について (就学前 44 件、小学生 31 件)

	就学前	小学生	合計
保育料無料への感謝や懸念	21	3	24
医療費への助成、無料期間を延長してほしい	6	14	20
学費や学用品への無償化・補助	4	5	9
児童手当・児童扶養手当を増やしてほしい	2	4	6
アフタースクールへの補助	2	1	3
その他	9	4	13
合計	44	31	75

(7) 子育て支援施策について (就学前 37 件、小学生 5 件)

	就学前	小学生	合計
子育て支援の充実	18	4	22
こども園、幼稚園、保育所の入所に関する情報・手続き方法の周知	4	0	4
相談支援	4	0	4
地域での交流	3	0	3
手続きの簡略化・受付の充実	1	0	1
その他	7	1	8
合計	37	5	42

(8) アフタースクールについて (就学前 32 件、小学生 29 件)

	就学前	小学生	合計
利用料が高い・安くしてほしい	8	6	14
休日・長期休暇等での利用希望	7	3	10
利用時間の延長・拡大の利用	4	3	7
希望者全員が入れるべき・定員を増やして欲しい	3	4	7
スタッフの資質の向上	0	4	4
利便性が悪い・遠い	3	0	3
利用時間や日数で料金を決めるべき	2	0	2
6年まで利用したい	0	2	2
その他	5	7	12
合計	32	29	61

(9) 広報について (就学前 33 件、小学生 5 件)

	就学前	小学生	合計
情報提供を充実（子育て支援や就学前施設）させてほしい	17	2	19
HP、ネット、アプリ等での情報発信してほしい	5	2	7
イベント等のPR不足	6	0	6
住民への説明（制度や学校の統廃合など）が足りない	2	1	3
その他	3	0	3
合計	33	5	38

(10) 病児保育について (就学前 28 件、小学生 2 件)

	就学前	小学生	合計
病児施設・定員を増やす	18	1	19
利用したい時に利用できない	4	0	4
利便性の改善	3	0	3
利用料が高い	2	0	2
その他	1	1	2
合計	28	2	30

(11) 地域の交通・安全について (就学前 43 件、小学生 24 件)

	就学前	小学生	合計
交通の便が悪い	6	9	15
登下校時の見守り・安全の確保など	7	6	13
道路、信号、街灯の整備	9	1	10
防犯対策の充実	4	5	9
公共交通機関の充実	6	2	8
小学校・アフタースクール・習いごと等への送迎	7	0	7
その他	4	1	5
合計	43	24	67

(12) 人口問題・子育て世帯の転入について (就学前 25 件、小学生 9 件)

	就学前	小学生	合計
子育て世帯転入に向けた支援や施策	11	4	15
子育て環境の改善	10	4	14
人口減少への懸念	3	0	3
その他	1	1	2
合計	25	9	34

(13) 一時預かりサービスについて (就学前 25 件、小学生 1 件)

	就学前	小学生	合計
サービス・施設の実施・充実	11	0	11
利便性の向上	6	0	6
就学前施設等での一時預かりの充実	5	0	5
その他施設（児童館等）での一時預かり	3	1	4
合計	25	1	26

(14) 習いごと・体験活動について (就学前 21 件、小学生 9 件)

	就学前	小学生	合計
送迎が大変・近くに習い事がほしい	6	0	6
習い事等の選択肢が少ない	5	0	5
身近な施設（園・学校・児童館等）で習い事を行いたい	3	2	5
様々な体験をしたい	5	0	5
情報不足	2	1	3
勉強できる場所がほしい	0	3	3
塾がほしい	0	2	2
その他	0	1	1
合計	21	9	30

(15) 子育て相談について (就学前 12 件、小学生 3 件)

	就学前	小学生	合計
気軽に相談できる場がほしい	4	3	7
子育て相談への感謝	4	0	4
相談窓口・スタッフに不満	3	0	3
相談できず孤独	1	0	1
計	12	3	15

(16) 障害のある子どもの支援等について (就学前 10 件、小学生 12 件)

	就学前	小学生	合計
施設の充実・新設	4	5	9
園・学校での理解・体制	0	5	5
充実している	2	0	2
支援体制が不足	1	0	1
その他	3	2	5
計	10	12	22

(17) その他 (就学前 68 件、小学生 37 件)

	就学前	小学生	合計
市に対する満足や感謝	10	3	13
行政への不満や期待	9	4	13
街づくり (商店、施設)	11	1	12
地域格差	7	4	11
人材確保	9	1	10
地域のつながり	0	8	8
アンケートについて	7	0	7
住み良い・子育てしやすい	4	1	5
住み続けたくない・住み続けるのに不安	4	0	4
育児と仕事の両立	1	2	3
しつけ・家庭の教育力	0	2	2
その他	6	12	18
計	68	37	106

Ⅲ. 調査結果から見える本市の現状

(就学前児童保護者調査・小学生児童保護者調査)

（１）就学前施設の利用ニーズについて

子育て中の母親の就労率が増加しています。国勢調査等の統計においても、子育て世代の女性の労働力率が増加しており、今後もこの傾向が継続することが考えられます。こうした傾向は、就学前保育や放課後児童クラブのニーズの増加をもたらすことが予想されます。三木市においては、国に先駆けて3歳児以上の就学前教育・保育の無償化を実施していますが、実施から2年がたち、就学前施設の利用ニーズは増加しています。今回の調査でも、就学前施設を利用していない保護者について、「利用したいが、教育・保育の施設に空きがない」が増加しています（p15）。引き続き、就学前施設の利用率が高い状況が継続すると考えられます。

（２）アフタースクールの利用ニーズについて

アフタースクールについては、就学前保護者の利用希望が大幅に増加しており（p33）、就学前施設の利用の増加が、今後アフタースクールの利用の増加に反映されることが予想されます。

休日利用についても、特に土曜日については、就学前保護者の約半数が利用を希望しており、小学生保護者の利用希望が約1割であるのに対して、大きな差があります（p38）。就学前の時点での利用希望が、実際の利用ニーズにどの程度反映されるかについては、慎重な検討が求められますが、今後休日や長期休暇中の利用希望についても、増加することが考えられます。

また、小学生保護者の4分の1が高学年でのアフタースクールの利用を希望しており、その中の半数以上は、6年生までの利用を希望しています（p37）。今後、高学年での利用希望についても増加することが予想されます。

（３）子育て支援事業について

①児童センター、吉川児童館での事業について

0歳児、1歳児で約4割、2歳児で約3割が「利用している」と回答していますが、2歳児以上では「現在利用している」という回答より、「現在利用していないが、できれば今後利用したい」という回答が多くなっています（p31）。0歳児、1歳児についても、「現在利用していないが、できれば今後利用したい」という回答が約3割となっており、潜在的な利用ニーズがあることが示されています（p31）。また、充実してほしいこととして、休日のイベントや小学生向けのイベントの増加を求める回答が多くなっています（p32）。

②病児保育・一時預かり・ファミリーサポートセンター事業について

病児保育は、利用の希望と実際の利用との間に大きな開きがあることが示されています（p26、p27）。病児保育を利用したいと思った人が利用しなかった理由としては、「親が仕事を休んで対応した」という回答が多くなっていますが、「利用料がかかる・高い」「利便性が良くない」「手続き方法・利用料がわからない」といった回答も、それぞれ1割を超えています（p28）。

同様に、一時預かりやファミリーサポートセンターについても、利用の希望と実際の利用との間の差が大きくなっており、潜在的なニーズが少なくないことが示されています（p21、p23、p42、p43）。

(4) 仕事と子育ての両立支援について

育児休業制度については、「子どもが原則1歳（保育所に入所できないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで、勤務先の健康保険組合等から育児休業給付金が支給されること」「子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、勤務先の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になること」について「どちらも知らなかった」という回答が3分の1を超えており、制度について十分知られていないことが示されています（p45）。

育児休業を取得したのは、母親の34.2%、父親の2.5%となっており、特に父親については取得率が低く、取得した場合でも1か月未満という短期間の取得が6割となっています（p46）。父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が多くなっており、育児休業の取得に対する職場での理解が得られにくい状況であることがうかがえます（p47）。父親、母親ともに実際の育児休業期間より、希望する育児休業期間の方が長くなっており、希望通りに育児休業を取得できない現状があることが示されています（p49）。

(5) 保護者の孤立や育児不安について

日頃子どもを預けられる親族・知人については、就学前、小学生の保護者の約1割が、日常的にみてもらえる人、または緊急時にみてもらえる人の「いずれもない」と回答しています（p8）。子育てにおいて、支援を得られにくいと感じている保護者が一定数いることがうかがえます。

子育ての悩みや不安から、子どもにつらくあたってしまうことの有無については、「子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある」について、就学前、小学生ともに2割台がときどき以上あると回答しています（p51）。「子どもの食事や身支度などの世話をするのが面倒に感じ、放っておくことがある」についても1割近くがときどき以上あると回答しています（p51）。子育てに負担を感じていることが、子どもに対する不適切なかわりにつながっていることがうかがえます。

子育てに関して悩んでいることや気になることについては、就学前保護者と小学生保護者とで大きく異なっており、子どもの年齢によって子育て不安の内容は異なっていることが示されています（p50）。

(6) 三木市の子育て環境について

三木市の子育て環境全般については、「認定こども園・幼稚園・保育所等の保育サービスに満足している」について、就学前保護者の7割以上が肯定的に回答しており、評価が高くなっています（p52）。これは、平成29年度より実施された3歳児以上の就学前施設の無償化の効果が大きいと考えられます。乳幼児検診の体制や小児医療体制についても、満足しているとの評価が6割を超えています（p52）。

一方で、「子育て中に楽しめるイベントが充実している」「公園など子どもの遊び場が充実している」については、就学前保護者、小学生保護者ともに否定的な回答が多くなっています（p52、p53）。

子育て情報の主な収集先については、友人・知人や子どもの通う保育・教育施設等の回答が多く、市の広報・ホームページや子育て支援拠点、子育て関連担当窓口等については、比較的少なくなっています（p54）。

三木市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

令和元年8月

三木市 健康福祉部 子育て支援課

〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町 10 番 30 号

TEL : 0794-83-2020 FAX : 0794-82-5500